

# 平成17年度事業報告

平成17年度の全脊連の主な活動は次のとおりです。

## 【全国総会の開催】

平成17年5月26日・27日・28日に香川県高松市の「全日空ホテルクレメント高松」に於いて社団法人全国脊髄損傷者連合会・第4回総会香川県大会を開催致しました。今回の全国総会には森支部長を先頭に香川県支部の皆さまのPRが行き届き、全国各地から34支部・総勢で179名の参加を得まして大変盛大な大会となりました。この大会の記念講演では、佐々木安徳氏（専光寺住職）による“一所懸命”についてのお話を戴きました。

総会議事では、平成16年度事業について報告があり、続いて平成17年度事業計画として、脊損ニュースの発行・労災遺族年金の手引き書発行・脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業・障害者自立支援法への取り組み・労災補償関係への取り組み・障害者差別禁止法制定への取り組み・省庁交渉及びロビー活動・体育振興・運営活動資金関連事業・会議の開催等々が承認され、活動して行くこととなりました。

## 【全国各ブロック会議の開催】

平成17年4月1日より平成18年3月31日までの間、全国の7ブロックに於いてブロック会議が開催されました。ブロック会議では、会議に重点をおいたブロックや、会議の方式でも分科会方式のブロックがあったり、会議の翌日に親睦を図るための競技大会を開催したブロックがありました。

ブロック会議で議論し、その結果について、ブロックへの提案問題及び本部への提案問題等々の報告がありました。

## 【理事会の開催】（拡大理事会含む）

平成17年4月1日より平成18年3月31日までの間、第28回理事会から第36回理事会まで計9回の理事会を開催致しました。

この理事会では、香川県総会で出された事業を基として、各ブロック会議での要望や、各県支部からの要望について議論を行ない、それぞれの担当者を決め活動をしてまいりました。

又、平成17年9月には拡大理事会を開催し、翌日に各ブロック理事の方も出席し省庁交渉を行なっております。

## 【要望活動】

1. 労災ホームヘルパーに関して
2. 労災介護補償給付に関して
3. 脊髄損傷専門センター病院の設置に関して
4. 疼痛緩和の治療法の研究開発に関して
5. 高速道路の障害者割引に関して
6. 障害者用駐車場の確保に関して

※ロビー活動（障害者自立支援法中心）を行ないました。

# 1. 広報及び情報提供

## 【1】脊損ニュースの発行

この1年間順調に発行してきましたが、自立支援法のことと、脊損連合会が初めて取り組んだピアマネジャー研修会のことは、特に力を入れて紙面を割きました。

その他、昨年に引き続き「ようこそ・うちの支部」や車いす使用者のための駐車場問題、痛みやラップ療法などの医療問題や、無年金障害者が対象の「特別障害給付金」の申請等の制度問題などを取り上げ掲載してきました。

## 【2】インターネット関連事業

1) インターネット活動については、会員ID・パスワード発行者数とML登録者数は、徐々にではありますが確実に増えております。

また、全脊連の活動に関すること、障害者自立支援法をはじめとする福祉情報についても、不十分ながら提供しました。

現在、会員限定エリアへ入るための会員IDとパスワードは180(+15)名の方へ発行致しました。一般公開されたMLのメンバーは188(+15)名、事務処理用に設けたML(ネットオフィス)も32支部の登録がされております。

2) インターネット版「車いす宿泊ガイド」(予約システム付)立ち上げのための合同会議

新規事業として「予約システム付のインターネット版車いす宿泊ガイド」のポータルサイトを(株)キロックスと協働して立ち上げるための合同会議を行いました。

### ①第1回合同会議

開催日 11月 2日(水)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連：2名 ロックシステム/キロックス：4名

### ②第2回合同会議

開催日 12月14日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連：6名 ロックシステム/キロックス：3名

### ③第3回合同会議

開催日 1月28日(土)

出席者 全脊連：4名 ロックシステム/キロックス3名

### ④第4回合同会議

開催日 3月 4日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連：5名 ロックシステム/キロックス：5名

### ⑤第5回合同会議

開催日 4月 8日(土)

会場 ロックシステム本社

出席者 全脊連：6名 ロックシステム/キロックス：6名

1. 今後の全体工程について

日程 & 行事	システム	入力	営業
			33箇所の確定
4月22日 合同会議	見本画面	33ヶ所の入力	営業打合せ①
5月1日	Webシステム詳細公開		DM発送(200カ所)
		200カ所の入力	
5月27日 合同会議	システムの最終調整		営業打合せ②
5月末日	システムの完成	順次入力	3000カ所への営業開始
6月17日 全国大会	会員への説明		
6月末日 披露			

2. 運用テスト33箇所の営業状況

①候補ホテルからの回答の現状

総回答数・・・19件(5/10現在)

・予約システム参加……12件 ・情報提供のみ……6件 ・NO……1件

②今後の対策

今回の郵送DMだけでは企画の趣旨が、宿泊施設側に十分に理解されていないようなので、引き続き全宿泊施設に電話にて趣旨を説明し、協力の要請をする。

注意事項 ・情報提供だけでもOKとする。 ・予約については後日案内する。

③YESの回答の宿泊施設について

・今後のシステムに関する打ち合わせ(情報提供の詳細など)はキロックスで行う。  
・確定した宿泊施設の情報は、全脊連からキロックスに伝えること

3. 全脊連全国大会について

①日程：6月17日(土)～19日(月)・・・山形県

②キロックスも大会での説明に協力する。

③大会での会員に対して協力をお願いする事項

・会員にインターネットからの予約をお願いする。  
・宿泊施設の確保の協力

4. 宿泊施設への次の案内

公開時期に100ヶ所以上の宿泊施設を掲載することを目的に、次の営業展開を実施する。

【3】福祉制度の関連資料等の配布

全国各県支部長及び各理事宛、メール(ML登録者)、FAX、郵送等にて送付した資料は下記の通りです。

平成17年

3月31日 日本財団事業「大学車いすバリアフリー一覧」のお知らせ(理事、支部長各位)

4月 2日 資料送付(理事、支部長各位)

①「障害者自立支援法について」

②「障害者自立支援法案に関する国会での議論の状況について」

- ③八代英太自民党障害者問題特別委員長宛の「障害者自立支援法について」の主張
- ④制度改正のスケジュール等
- 4月 4日 障害年金改正をすすめる会ニュース（支部長各位）
- 4月11日 第27回理事会議事録（理事、支部長各位）
- 4月28日 資料送付（理事、支部長各位）
  - ①第4回総会香川県大会議案書
  - ②委任状および代理人依頼報告書提出のお願い
  - ③定款補則
  - ④5. 12「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム」チラシ
- 5月10日 第4回総会香川県大会議案書「改訂版」（理事、支部長各位）
- 5月13日 第28回理事会議事録 「みんなの車2005」チラシ（理事、支部長各位）
- 5月23日 無年金障害者向け給付金、8割未請求 制度開始ひと月で（ML 登録者へ配信）
- 6月 6日 理事・監事就任承諾書提出のお願い（理事、監事各位）
- 6月 6日 資料送付（理事、支部長各位）
  - ①労災保険法「遺族年金手引き」（実務編）購入のお願い
  - ②平成17年度ブロック会議本部提案議題
- 6月10日 障害者自立支援法に対する自治体の意見（ML 登録者へ配信）
- 6月10日 当事者の声に真摯に応えるべく「障害者自立支援法案」修正協議（ML 登録者へ配信）
- 6月13日 障害者サービスの家族負担、条件付き免除方針 厚労省（ML 登録者へ配信）
- 6月17日 誰にも使いやすいの発想で 国交省が新政策大綱案（ML 登録者へ配信）
- 6月17日 介護保険法改正案が参院厚労委で可決、今国会で成立へ（ML 登録者へ配信）
- 6月24日 <障害者自立支援法案>厚労省、「政争の具にされている」（ML 登録者へ配信）
- 6月24日 改正介護保険法成立 介護予防サービス新設（ML 登録者へ配信）
- 6月24日 本部役員名簿（ML 登録者へ配信）
- 6月25日 <障害者自立支援法案>主要8団体が「定率負担」導入を容認（ML 登録者へ配信）
- 7月 7日 障害者特別委員会から厚労委と党筆頭理事に宛てた要望文書（ML 登録者へ配信）
- 7月 7日 障害者自立支援法案に関する与党の要望事項について（ML 登録者へ配信）
- 7月11日 第29回理事会議事録（理事、支部長各位）
- 7月12日 一体的バリアフリーを目指す 国交省が町づくり政策大綱（ML 登録者へ配信）
- 7月13日 本日の障害者自立支援法案審議中継（ML 登録者へ配信）
- 7月15日 障害者自立支援法案 衆院厚労委で可決 原則1割負担に変更（ML 登録者へ配信）
- 7月16日 障害者自立支援法が衆院通過 障害者に自己負担求める（ML 登録者へ配信）
- 7月27日 <障害者自立支援法案>低所得者の負担分軽減 厚労省方針（ML 登録者へ配信）
- 8月 5日 平成17年度「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」参加者募集（理事、支部長各位）
- 8月19日 冊子送付（理事、支部長各位）
  - ①「権利条約に期待するもの」

- ②「ささえあい12号」(支えあう21世紀の会)
- 9月12日 第30回理事会議事録(理事、支部長各位)
  - 9月14日 「YES YOU CAN」冊子活用をお願い(理事、支部長各位)
  - 9月30日 障害者自立支援法案を閣議決定 施行は4月に延期(ML登録者へ配信)
  - 10月1日 障害者自立支援法案の審議日程(ML登録者へ配信)
  - 10月1日 追加 17日以降 衆議院へ(ML登録者へ配信)
  - 10月5日 障害者自立支援法案が参院で審議 厚労相、持続可能な制度に(ML登録者へ配信)
  - 10月5日 平成17年度「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修テキスト」の送付  
(理事、支部長各位)(ワンメイクより)
  - 10月10日 28回社会保障審議会障害者部会資料(ML登録者へ配信)
  - 10月12日 第31回理事会(拡大理事会)議事録(理事、支部長各位)
  - 10月15日 厚労省、介護報酬の改定骨格案を提示(ML登録者へ配信)
  - 10月15日 自立支援法案が参院通過 障害者に利用負担求める(ML登録者へ配信)
  - 10月15日 <自立支援法案>程度区分項目に障害者特性も考慮 厚労省  
(ML登録者へ配信)
  - 10月17日 「障害者自立支援法案における政省令事項について」(ML登録者へ配信)
  - 10月19日 自立支援法案に関する資料(ML登録者へ配信)
  - 10月25日 大濱副理事長よりメールにて送信(ML登録者へ配信)
    - ①障害者自立支援法案における政省令事項について
    - ②障害者自立支援法案に対する付帯決議
 (2005年10月13日参議院厚生労働委員会)
  - 10月31日 公明党 衆議院厚生労働委員会用資料(ML登録者へ配信)
  - 10月31日 10/28衆院・厚労委理事会での申し合わせ事項(ML登録者へ配信)
  - 11月1日 障害者施策総合調査ご協力をお願い(理事、支部長各位)  
(生活環境、情報、コミュニケーションに関する調査)
  - 11月2日 「初の人権条例が成立 鳥取県議会」(ML登録者へ配信)
  - 11月4日 労災病院、新館オープン(ML登録者へ配信)
  - 11月5日 障害者自立支援法に対する(社)全国脊髄損傷者連合会のスタンスについて  
(ML登録者へ配信)
  - 11月17日 第32回理事会議事録(理事、支部長各位)
  - 11月27日 「障害者自立支援法に係る政省令で定める事項」に関するご意見募集  
(ML登録者へ配信)
  - 12月15日 <障害者雇用率>企業は1.49% 金融庁は2年連続で勧告  
(ML登録者へ配信)
  - 12月19日 障害者の差別撤廃へ、千葉県が全国初の条例案(ML登録者へ配信)
  - 12月21日 <06年度予算>障害者福祉サービス費、大幅増 財務省原案  
(ML登録者へ配信)
  - 12月26日 資料送付(理事、支部長各位)
    - ①第33回理事会議事録
    - ②飲料水自動販売機に関する各県支部の意向について
  - 12月27日 障害者自立支援法に関する厚生労働省における施行準備状況について

(理事、支部長各位)

平成18年

1月 8日 道路・公園のバリアフリー化義務付け、新法案提出へ (ML登録者へ配信)

2月 8日 東横インに対する要望について出欠案内 (FAXにて理事、監事各位へ)

2月 9日 資料送付 (理事、支部長各位)

①第34回理事会議事録

②冊子「平成18年度4月障害者自立支援法が施行されます」

2月11日 第30回社会保障審議会障害者部会資料 (ML登録者へ配信)

2月15日 脊損ニュース合本号(2005)送付について (理事、支部長各位)

2月20日 第5回総会山形県大会開催要項 (理事、支部長各位) (山形県支部より)

2月21日 「重度訪問看護」の報酬 (支部長各位)

2月23日 「重度訪問看護」の報酬 (ML登録者へ配信)

2月26日 2月24日現在の「重度訪問介護の報酬単価の厚生労働省(案)」

(ML登録者へ配信)

2月27日 「Ask Doctors」一ヶ月無料体験のご紹介 (ML登録者へ配信)

3月 4日 「障害者自立支援法に係る政省令で定める事項」に関するご意見募集

(ML登録者へ配信)

3月 8日 公益法人改革法案 認定委で公益性判断 23事業を列挙 (ML登録者へ配信)

3月15日 第35回理事会議事録 (理事、支部長各位)

3月15日 「障害者自立支援法の早期成立の要望書」の提出に関する総括(報告)を求める佐賀ブロック大会決議の取扱いについて本部理事会、拡大理事会での見解を求める(九州ブロック会議メールより)

3月29日 第36回理事会議事録 (理事、支部長各位)

3月29日 障害基礎年金と併給可能に 4月から、老齢年金と (ML登録者へ配信)

3月30日 平成17年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業報告書、資料集

(理事、支部長、関係者各位)

#### 【4】入会ガイドの配布

新入会員の勧誘や、各関係機関に配布するために製作した全脊連の入会ガイド「明日から元気ケア」は支部の要請に応じ配布しました。

#### 【5】「労災遺族年金の手引き」の発行

労災遺族年金プロジェクトチームが平成13年に発足して以来、課題であった労災保険法「遺族年金の手引き」が完成し2,000部を発行しました。

定価は、2,500円(会員特別価格は、送料込みで2,000円)。

現在、脊損ニュース、全脊連のホームページにて購入申込み受け付中です。

## 2. 社会参加促進事業

### 【1】脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業の実施

平成17年度の脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会は、第2回養成研修会（東北地区）、第3回養成研修会（関西地区）を実施しました。

#### 1. ピアマネジャー養成研修事業準備・評価のための委員会の設置と開催

##### ①設置目的

全国46支部に配置するピアマネジャーの養成を目指し、その研修内容及びテキスト作成等を検討するための準備・評価のための委員会を設置しました。

##### ②委員構成(計10名)

委員長 吉永 勝訓（千葉県千葉リハビリテーションセンター・センター長）

委員 小滝みや子（千葉県千葉リハビリテーションセンター・ソーシャルワーカー）

委員 藤井 直人（神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部リハ工学研究室・室長）

委員 田淵 規子（NPO自立生活センター東大和・事務局長）

委員 辻 一（社団法人大阪脊髄損傷者協会・会長）

委員 仲根 建作（社会福祉法人那覇市社会福祉協議会地域福祉課・課長）

（内部委員）

委員 妻屋 明（社団法人全国脊髄損傷者連合会・理事長）

委員 大濱 眞（社団法人全国脊髄損傷者連合会・副理事長）

委員 市川 博（社団法人全国脊髄損傷者連合会・専務理事）

委員 千葉 均（社団法人全国脊髄損傷者連合会・専務理事）

##### ③ピアマネジャー養成研修事業準備・評価委員会の開催実績

###### ◎第1回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成17年7月3日

開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室

出席人数：8名

###### 議 題

- (1) 平成17年度年間スケジュールについて
- (2) 平成17年度事業の取り組みについて
- (3) 平成17年度用研修テキストについて
- (4) その他

###### ◎第2回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成17年9月11日

開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室

出席人数：10名

###### 議 題

- (1) 経過説明（テキスト作成・研修会参加者他）
- (2) 研修会の事例内容の決定（事例記入用紙含む）
- (3) 研修会のアンケート調査用紙内容の決定
- (4) 別刷り項目の冊子作成について

- (5) 東北開催の各委員の講義時間配分について（出席日・宿泊日）
- (6) その他

◎第3回 準備・評価のための委員会

開催時期：平成18年2月26日  
開催場所：戸山サンライズ地下1階会議室  
出席人数：9名

議 題

- (1) 平成17年度事業報告
- (2) 平成17年度事業の報告書作成に関して
- (3) 平成18年度事業の展望に関して
- (4) その他

2. 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会の開催

◎第2回脊髄損傷者のピアマネジャー研修会（東北地区）

開催日程：平成17年10月22日（土）～23日（日）  
開催場所：秋田県青少年研修センター「ユースパル」  
出席人数：45名（講師6名、内部委員4名、参加者35名）  
（研修内容）

□10月22日（土）

はじめに

第1章 脊髄損傷者のピアマネジャーの基本理念と意義

第3章 ピアマネジメントの実際

- 2. ケアマネジメントの過程とピアマネジャーの役割
- 3. 相談援助技術

第4章 記録のとり方とその重要性（含む事例サンプル）

第5章 社会資源の活用（法・施策など）

- (1) 制度の概要
- (2) 医療福祉用具の利用
- (3) 住宅改造
- (4) 外出支援
- (5) レクリエーション
- (6) 情報収集

第6章 全脊連のピアマネジメント体制

付録 用語集

□10月23日（日）

第2章 脊髄損傷者の基礎知識（医学的なこと）

第3章 ピアマネジメントの実際

- 1. 自立生活の概念と脊髄損傷者の自立
- 4. 支援内容
  - (1) 入院中の患者へのサポート
  - (2) 電話相談 大きなニーズと可能性
  - (3) 患者へのサポート
  - (4) 患者から生活者へ、そして社会へ
  - (5) 日常生活における支援
- 5. 関係機関へのアプローチとネットワーク化

演習（グループ別）：事例1、演習（グループ別）：事例2



修了式 講評 修了証授与

◎第3回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会（関西地区）

開催日程 平成18年1月21日（土）～22日（日）

開催場所 大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」

出席人数 48名（講師6名、内部委員5名、参加者37名）

□1月22日（土）

はじめに

第1章 脊髄損傷者のピアマネジャーの基本理念と意義

第2章 脊髄損傷者の基礎知識（医学的なこと）

第3章 ピアマネジメントの実際

5. 関係機関へのアプローチとネットワーク化

第4章 記録のとり方とその重要性

第5章 社会資源の活用（法・施策など）

①制度の概要 ②医療福祉用具の利用 ③住宅改造 ④外出支援

⑤レクリエーション（余暇活動） ⑥情報収集

第6章 全脊連のピアマネジメント体制

付録 用語と説明

□1月23日（日）

第3章 ピアマネジメントの実際

1. 自立生活の概念と脊髄損傷者の自立

2. ケアマネジメントの過程とピアマネジャーの役割

3. 相談援助技術（2～3）

4. 支援内容

①入院中の患者へのサポート

②電話相談／大きなニーズと可能性

③患者へのサポート

④患者から生活者へ、そして社会へ

⑤日常生活における支援

演習（グループ別）事例1、演習（グループ別）事例2

修了式 講評 修了証授与

3. 演習の実施

脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会の初級コースで得られた知識や技術を踏まえて、更に実践的なピアサポートの技術を身につけるため、各グループで討議を行い、事例に対してどのようなピアサポートができるのかについて支援計画を立て、合わせてその感想をまとめて書いて下さい。又、演習事例はこれまでに実際に行ったピアサポートを基に2例を選んで作成されたものですが、この事例を理解してその内容を相談支援カードに書き込んでいただきました。

イ. 演習の目的

①ピアサポートのプロセスを確認する。

②ピアマネジャーに必要な知識と技術を確認する。

③福祉制度や社会資源の状況について理解を深め、実践を身に付ける。

④事例を通じて色々な支援方法を理解する。

⑤記録の書き方を身につける。

ロ. 演習方法

- ①各グループ内で、進行役・記録・発表者を決める。
- ②進行役はピアマネジャーとしてのリーダーシップを意識し、その目的に沿って時間内にまとめる。
- ③事例検討後に、各グループでまとめを全体に報告し、相互に討議する。
- ④演習においては相談支援カードにその内容を記入する。

#### ハ. 発表について

- ①各グループ毎に発表をしていただきました。

#### 二. 演習支援者（ファシリテーター）

- ①総括進行役⇨妻屋（内部委員）
- ②進行管理役⇨仲根（講師）
- ③ファシリテーター⇨妻屋（内部委員）・小滝（講師）・田淵（講師）・辻（講師）・千葉（内部委員）  
市川（内部委員）

#### ホ. 演習について、各項目毎の所要時間の設定

1. 概要の説明・・・・・・・・・・10分間
2. グループ内の役割決定・・・・ 5分間
3. 事例の読み上げ・・・・・・・・10分間
4. カードへの記入・・・・・・・・15分間（各個人が記入）
5. 支援計画の記入・・・・・・・・20分間（各個人が記入）
6. グループディスカッション及びまとめ（グループ毎で支援計画書に記入）・・・・30分間
7. グループ発表・・・・・・・・10分間

PM1：00～PM3：00の間で事例1を行う

PM3：00～PM5：00の間で事例2を行う

#### ヘ. 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会演習のグループ編成について

##### ◎第2回養成研修会（東北地区）演習のグループ編成（敬称略）

**Aグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨千葉（内部委員）

1. 阿部秀一 2. 伊藤 司 3. 畠山楯夫 4. 高橋玲子 5. 吉田七百子 6. 小池廣光
7. 後藤真奈美

**Bグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨小森一昭（東北ブロック理事）

1. 渡辺源一 2. 佐々木純一 3. 松永武夫 4. 柴田弘好 5. 近藤敏明 6. 矢口眞澄

**Cグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨小滝（講師）

1. 松嶋千郷 2. 鈴木清隆 3. 安杖直人 4. 阿部 勇 5. 佐野陸郎 6. 箱岩松男

**Dグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨田淵（講師）

1. 渡部忠治 2. 佐藤 学 3. 三浦重泰 4. 齋藤忠義 5. 土谷 勉 6. 土谷恭子

**Eグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨辻（講師）

1. 国分由起子 2. 内田 昇 3. 阿部容子 4. 日當万一 5. 山平 誠 6. 五十嵐節

**Fグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨仲根（講師）

1. 佐々木清美 2. 飯島勝三 3. 志村裕子 4. 岡野善記 5. 才神清吾 6. 蛭名 信

##### ◎第3回養成研修会（関西地区）演習のグループ編成（敬称略）

**Aグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨妻屋（内部委員）

1. 小川弘乃 2. 山田和代 3. 本田正弘 4. 伊藤和也 5. 中島 徹 6. 吉川政廣
7. 木上秀保

**Bグループ**・・・ファシリテーター（支援者）⇨小滝（講師）

1. 猿木唯資 2. 橋本三左子 3. 清水煌三 4. 日紫喜俊二 5. 前中智佐美 6. 上道廣己

Cグループ・・・ファシリテーター（支援者）⇨田淵（講師）

1. 越野清三 2. 井手香枝 3. 田中弘幸 4. 松井保偉 5. 内田多恵子 6. 川瀬真弘

Dグループ・・・ファシリテーター（支援者）⇨辻（講師）

1. 井上郁子 2. 岡本健次郎 3. 石田清範 4. 齋藤美恵子 5. 清水良安 6. 前川清美  
7. 玉井 亨

Eグループ・・・ファシリテーター（支援者）⇨千葉（内部委員）

1. 染矢龍男 2. 坂本高子 3. 岡崎 章 4. 田中恒紀 5. 高木和典 6. 鈴木ひとみ

Fグループ・・・ファシリテーター（支援者）⇨市川（内部委員）

1. 平野晴雄 2. 野中順子 3. 吉田憲司 4. 加藤作子 5. 中嶋達治 6. 四塚康則

#### 4. アンケート調査の実施

平成17年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会のアンケート項目

##### 1) 研修会を受けた動機について

イ. 自由に

##### 2) あなたのピアマネジャーの経験について

イ. ピアマネジャーの経験がある（約 年間） □. 無し

##### 3) 研修会の日程について

イ. 二泊三日は（長すぎる・短すぎる・丁度よい・泊 日がよい） □. その他自由に

##### 4) 講義（演習含め）の時間配分について

イ. 講義については（長い・丁度良い・短い・その他） □. 演習については（長い・丁度良い・短い・その他）  
ハ. その他自由に

##### 5) テキスト本の内容について

イ. 本の内容は（理解しやすい・普通・理解しにくい・その他） □. その他自由に

##### 6) 相談カードへの書き込みについて

イ. 解りやすい相談カードである □. 解りにくい相談カードである

ハ. その他自由に（改善すべき事柄等）

##### 7) 全脊連のピアマネジャーを公的な相談機関とするについて

イ. 公的な機関とすべきである □. 全脊連内部の相談機関で充分である ハ. その他自由に

##### 8) 研修を受けて今後の自分の活動について

イ. これからピアマネジャー活動を所属した部内で（行いたい・解らない・やりたくない・その他）

□. その他自由に

##### 9) 更に上級の研修を受けたいと思いますか

イ. 受けたい □. 受けたくない ハ. その他自由に

##### 10) 研修を受けた感想について

イ. 今回研修を受けて（よかった・解らない・よくなかった・その他） □. その他自由に

##### 11) 今回の研修会全般についての感想をお願いします。

東北地区研修会アンケート集計結果(回答:25名)

##### 1) 研修会を受けた動機について

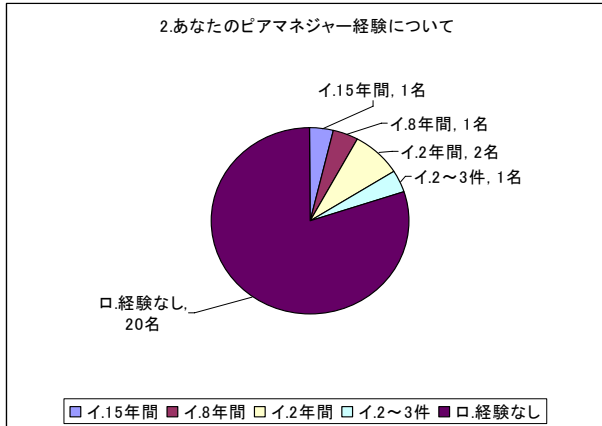
イ. 自由に

すこし興味があった。／ガイドヘルパーをしているので利用者の病気のことを勉強し役立てたい

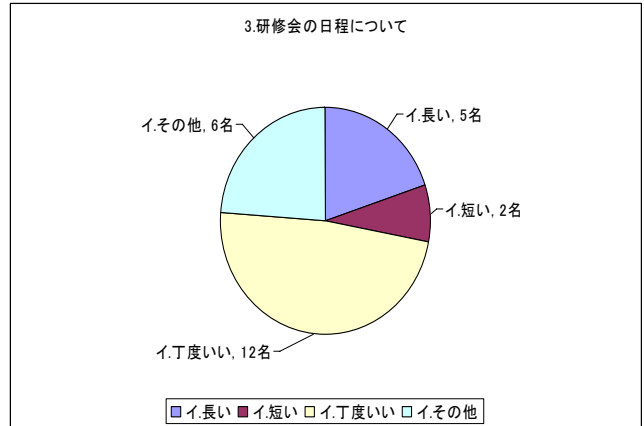
地元開催であったため／もっと知りたいから／社会貢献したい／地区役員のため／日常生活で同様

な事をやっているの必要と感じたため/自分は回りに迷惑をかけていた/脊損者からみんなと楽しくやったらと言われたことで元気になった、役に立ちたい/サポートに興味を持っていた、今後の活動に活かしていきたい/活動しているため知識を深めたい/夫の活動を脇から見ている、知識を自分も行いたい/自分自身を見つめる第一歩/自分が生きてきたことを生かしたいと思った/岩手の役員として参加した/支部長からの薦めで/自主的に勉強したくて/参加する人が居なかったから/研修を受けたという実績が欲しかったから/会員増強に役立ちたい、良きアドバイザーになりたい/研修に参加したいため/海外入院中ピアサポートを受けた、自分も役立ちたいと考えて/自分の知識の向上のため。

2) あなたのピアマネジャーの経験について



3) 研修会の日程について



イ. その他

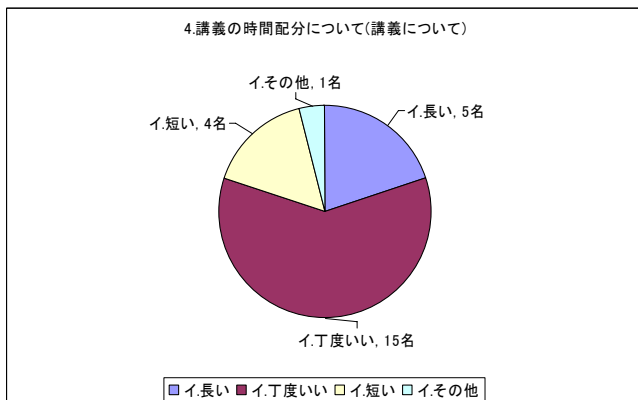
- ・奥深く研修するには時間が足りない。
- ・仕方がない。
- ・1日の時を短くし年に2回位受けたい。
- ・9時~5時はつらい。
- ・もっと専門的でも良い。
- ・単位制を導入し分けて行う。
- ・時間が長い1泊2日が良い。
- ・1泊2日が良い。

ロ. その他

- ・研修の内容及び講師の講義は分かりやすい。

4) 講義(演習含め)の時間配分について

イ. 講義時間について



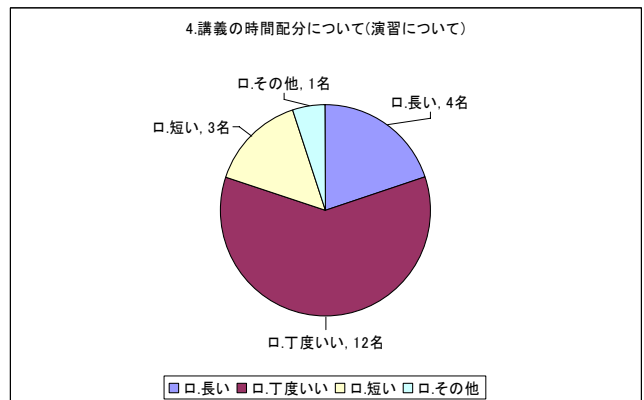
イ. その他

- ・伝えたい気持ちは分かるが連続では理解できない。

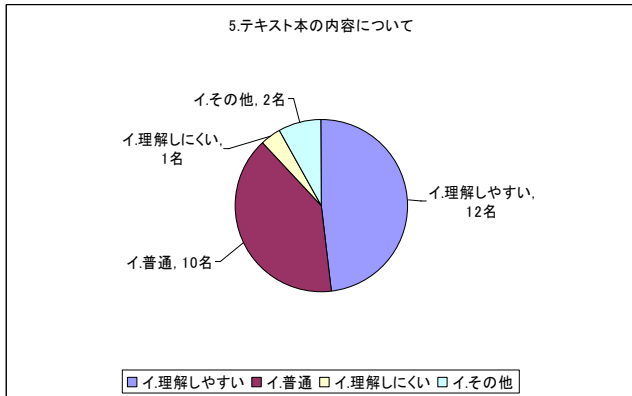
ハ. その他

- ・行程がハード。

ロ. 演習について



5) テキスト本の内容について



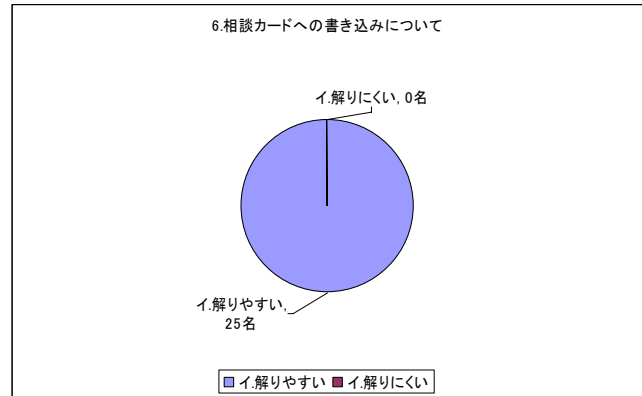
イ. その他

- もっと簡単でも良い。
- 箇条書き、図説が欲しい。

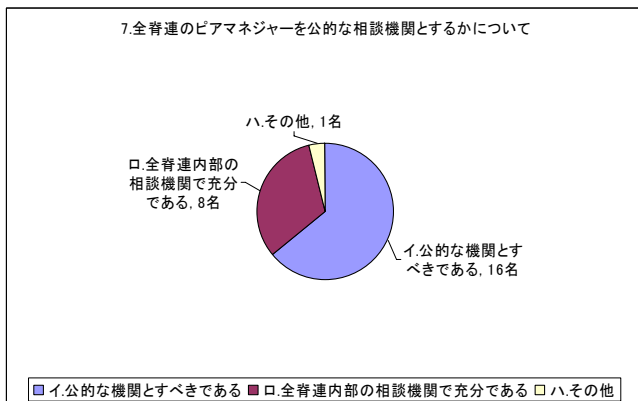
ハ. その他

- まだまとまらない。

6) 相談カードへの書き込みについて



7) 全脊連のピアマネジャーを公的な相談期間にするかについて 8) 研修を受けて今後の自分の活動について



ハ. その他

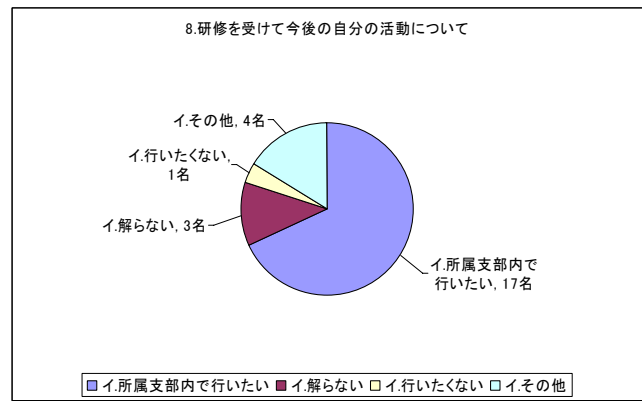
- 民生委員と同じにする。

イ. その他

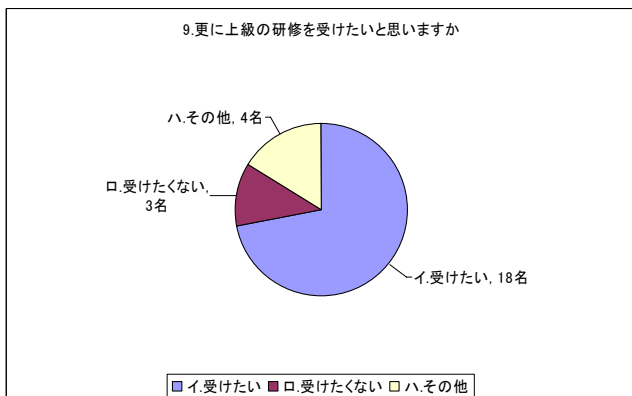
- 色々な問題有り。
- 人材育成。
- 時間と資金の問題。
- 相談を受けたら行く。

ロ. その他

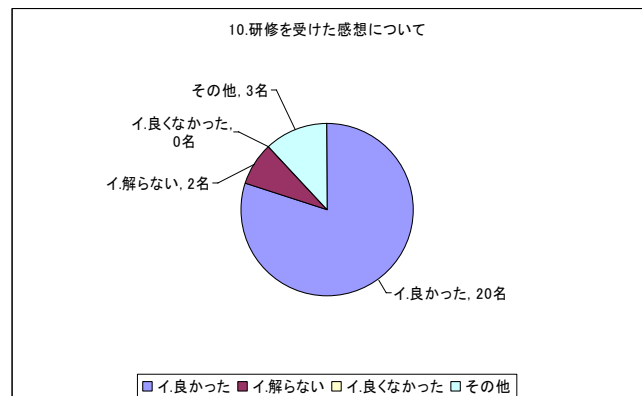
- 難しい。



9) 更に上級の研修を受けたいと思いますか



10) 研修を受けた感想について



ロ. その他

- ・解らない ・勉強して考えたい ・解らない

イ. その他

- ・簡単すぎる。

11) 今回の研修会全般についての感想

- (1) 軽い気持ちで参加したところ、朝からビッシリの内容。受講者の真面目な受講態度に正直驚いた。全脊連に入会して9年目、支部会議・ブロック会議・全国総会に参加しているが今回の研修会は一味も二味も違った。各講師の方々は素晴らしかったが、自分達の先輩の辻大阪支部長の雄弁さや知識の豊富さに感服した。知識も行動力、人に対する行動力も足りない自分だけけど、今日の研修会を生かして、誰かに相談されたとき、キットその人の身になって考えてやれる気がしてきた。
- (2) 時間が限られている為に若干詰め込み過ぎの感じである。今後も1日程度のアップデート講習を希望します。ウェブ等に研修を受けた者だけが見ることが出来る事例集があると参考になる。今回の例題のように今までの事例集を検討及び勉強会の開催に興味ある。地域毎にピアマネジャーパッケージといった資料一覧をまとめたものをウェブ上で用意できたら必要に応じ相談に持っていけると思う。事例による演習は大変良かった。
- (3) 初級コースの案内・中級コースの案内・上級コースの案内が必要と思う。今回の研修では講師の方々が実践体験からの講義であったため、新たに認識できたり、地域の行動など情報として得られて有意義であった。全脊連の揺るぎ無い体制が有ってこそこの様な研修会が開催できるとのお話があった。各県支部の状況は支部毎に格差があるのが現状と思う。会員の減少(高齢化)を阻止する課題があると思う。
- (4) よかった。
- (5) 今後は法律面の話(弁護士)を聞きたい。
- (6) 内容を専門的にした方が良いと思う。単位制とし、研修会を分けるのも手ではないか。伝えたい気持ちは分かるが、速記しての話は理解が難しい、時々、視覚に訴えることが必要と思う。車いす操作・セッティング知識の体系化を行う必要がある。キャリアカウンセリングという本を参考としてはどうか。職業化させることが重要と考える。良い話が多かった、医学モデルに頼りすぎたと感じた。障害に目がいきすぎず、普通に人として生きるには、という視点での話を聞きたかった。アサーションは一般的に誤解を生じやすい、アセスメントを使って個々が自分のアサーションスタイルを確認することが必要である。生涯発達とキャリアカウンセリングの視点は、これからは重要である、現在、有力企業が取り入れだした、人生を豊に出来る可能性がある。ピアマネとして道具の知識も必要である、誤認し易い知識・車いす・自動車・日常生活等具体的な事項について勉強する事も大切であると考え。連携の仕方についても学びたい、クライアントを中心としてネットワークをいかに構築し、利用していく事も現代社会には必要ではないか。
- (7) 法律・医術・科学技術などの環境変化と対応についてレベル維持をはかる。
- (8) 車いすでの研修会は10時~5時頃はつらい。次回はもう少し進めた研修会になれば。
- (9) 今後も続けていただきたい。
- (10) テキスト本はもっと簡単でも良いと思う。公的な機関とするにはもっと勉強会の開催が必要と思う。
- (11) 自分の行動・生き様を深く考えたいと思った。カウンセリングを受けると心の像が癒されました。
- (12) 短縮プログラムの中での勉強なので支部についての復習が必要と思う。今回の研修会の成果を日常の活動に生かしたい。

(13)もっと深く研修するには時間が足りない。今回の研修会に参加して大変参考になりました。今後のサポート活動に

役に立てるべく努力をし、連合会の発展に繋がるようにしたい。又、サポート活動を通じ会員増加にも繋がるようにしたい。

(14)東北での研修会開催をしていただき有り難う御座いました。これから障害者になられた方が少しでも悩みが軽くなるよう、役立ちたいと思って参加しました。

各先生方の一生懸命な説明についていくのが大変でした。支部に帰ってから今回参加した人に教えて貰い、みなさんに好かれる・頼れる人になれるよう勉強していきたい。

(15)障害者には大変な研修会であった。

(16)“ピアマネジャー養成”この試みは素晴らしい事だと思う。今回の研修会では概要を理解するにとどまっただが、今回学んだことを基礎にして今後のピアマネジャーとして必要な知識・技能を身につけていきたい。

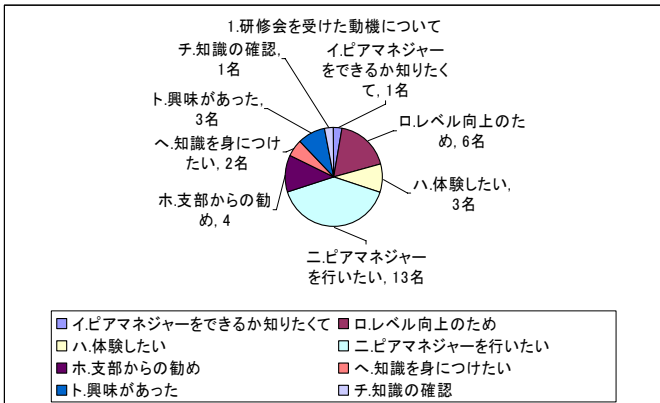
(17)研修を受けるのは良いけれど、ピアマネジャーにはなりたくない。年齢的に自信がない。相手のあることで難しい問題がある。

(18)研修内容・講師の講義は分かりやすかったので受講して良かった。

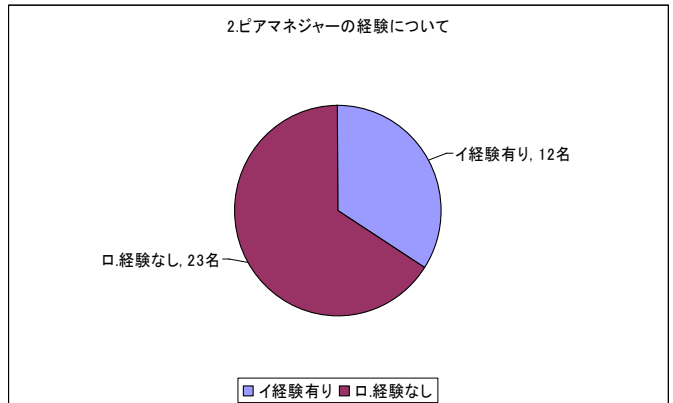
研修の基礎知識に関する講義は勉強になりました。脊損の障害を持っている方の講義は生活していく中での不便・法的なものを含めて理解できた。経験者・実践者の講義は得るものが沢山あり良かった。リハビリ・医学は専門職の講義で病気のことをより深く知ることが出来て障害の程度がよく分かった。演習グループは同じ県同志にならない方が良かった。

関西地区研修会アンケート集計結果(回答:35名)

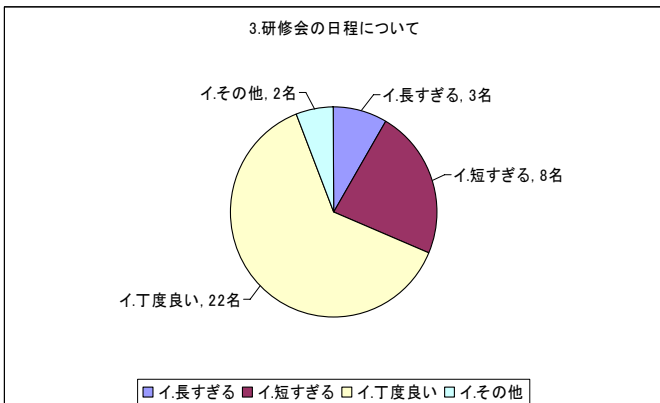
1) 研修会を受けた動機について



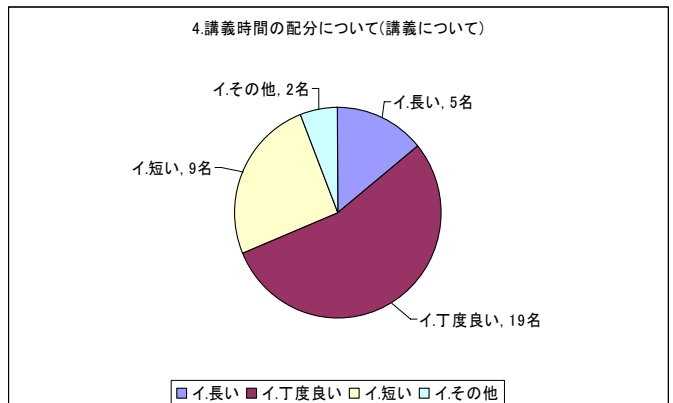
2) ピアマネジャーの経験について



3) 研修会の日程について



4) 講義時間の配分について



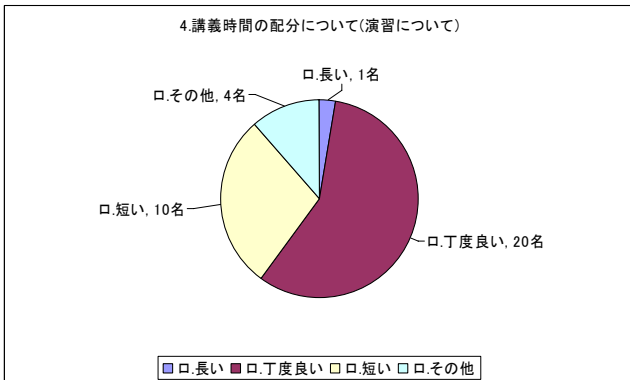
- ・余裕が欲しい。 ・詰め込み過ぎる。 ・もう少し詳しく。 ・時々やって欲しい。

□. その他自由に

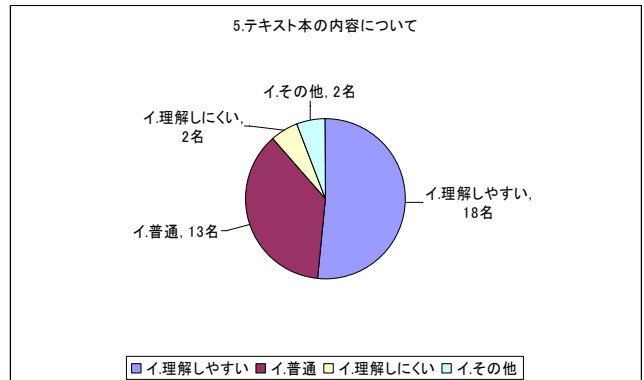
- ・理解するにはゆとりを持つ必要有り、からだ的には丁度良い。 ・一回の講習でなく継続が必要。
- ・詰め込みすぎと感じる。 ・定期的な開催を希望。 ・回数を増やす必要がある。 ・褥瘡があるため、体力的にきつかった。
- ・開催時期を暖かい時期にして欲しい。

イ. 講義時間については

□. 演習については



5) テキスト本の内容について



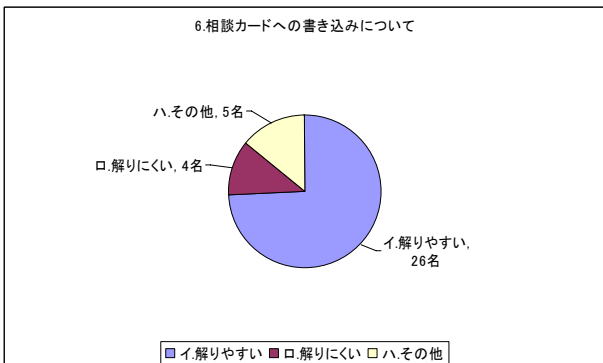
□. その他

- ・一つの項目で掘り下げていきたい。 ・シーティングについて知りたかった。
- ・受講者は一応、本を見ているので要約説明でよいのでは。
- ・時間配分がハード、休憩時間が短い、体力的につらい
- ・凝縮されたスピーディな講義だった、スキルアップ講義をお願いしたい。
- ・事例は一つでキチンとやりたい。

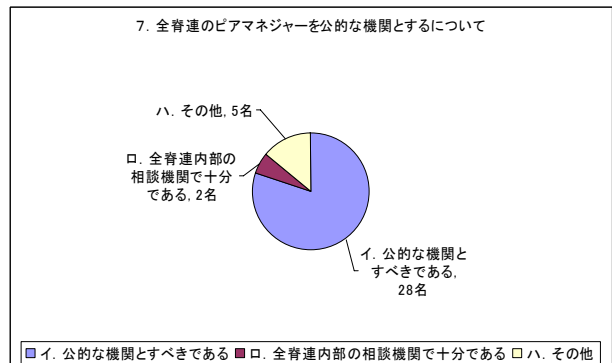
イ. その他

- ・初級にしては難しい。 ・すごいテキストである、見事にまとめている。
- ・文章が重複していませんか。 ・必要に応じて副読本を発行して欲しい。 ・易しすぎる。
- ・具体的な事例をいくつか書いて欲しい。
- ・説明を多くして欲しい。

6) 相談カードへの書き込みについて



7) 全脊連のピアマネジャーを公的な機関とするについて



ハ. その他

- ・記入プロセスを時間をかけて説明して欲しい。 ・個人情報の管理についてのルール作りが必要。 ・

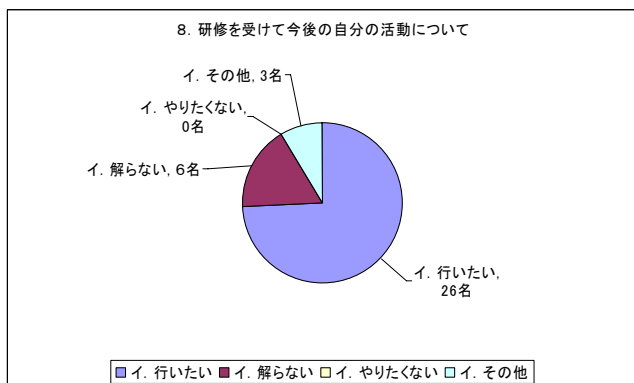


会員台帳を含め、管理が難しい(どこまで申し送りするか)。 ・ P74 の中段の表は必要ない項目・枠があります、2～5行の3～6番の縦線は不要ではないか。 ・「活動実績」として使用する旨を相談者に伝える必要はないか。 ・1対1のメモならば問題はないが、会の活動資料とするならば考える必要がある(明確にする)。 ・相談経過を書けるようにしたい。 ・もっと使ってみないと分かりません。 ・実際に使用していないので分かりません。

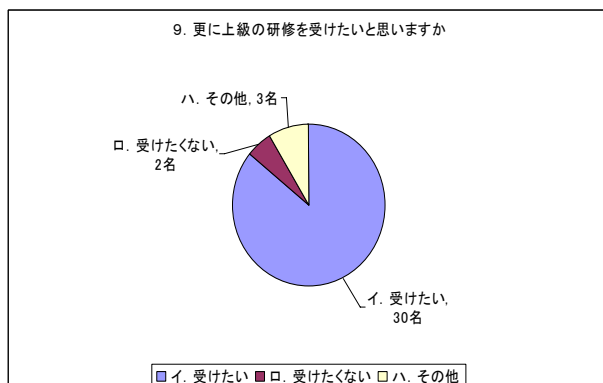
ハ. その他自由に

- ・ボランティア活動。 ・解らない。 ・理事長のビジョンは大変意義がある、実践を積んで公的な機関と認められるよう望む。 ・自立支援等の相談事業あるいは単にボランティア活動なのか方針・指針を立てて欲しい。 ・どちらでも良い、交通費程度が出れば活動したい。 ・予算がつくようになりたい。 ・半々である。 ・ボランティアなのか、お金が取れる機関にするかで専門性が違ってくるので、最終ムードだけにするのは避けて欲しい。 ・公的な機関にするには研修が短すぎる、仕事内容や役割を明確にし、ピアマネの苦情に対する対応等も保障した方がよい、今はJCLのピアカンと同じような活動で良いのでは。 ・1人の相談者問題を自分ひとりで全部解決するには限度があり、いろいろな機関や、その問題に詳しい方の協力がないと難しいと感じている。 ・全脊連の組織体系を見直しながら支部活動の事業の柱として推進することを検討すべきである。

8) 研修を受けて今後の自分の活動について



9) 更に上級の研修を受けたいと思いますか



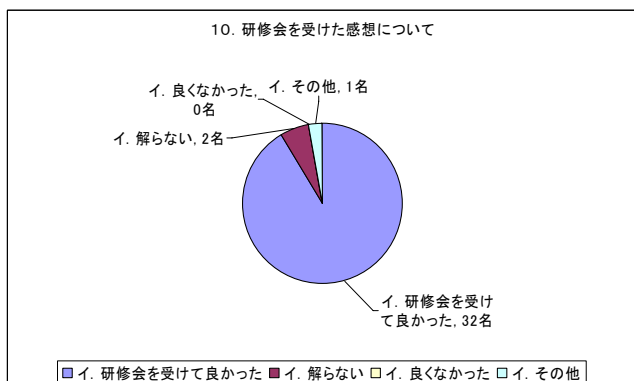
イ. その他

- ・どれだけマネジメントができるか不明のため自信がない。 ・自分の知識不足を思い知らされた。 ・自分にどれだけできるか、向いているのか解らずに答えがでない。 ・仕事を持って活動するには相談者のスケジュールもあるのでピアマネに専念することができるかジレンマがある。 ・支部内で研修会を行ってほしい。 ・支部会員に啓蒙する必要がある。

ハ. その他

- ・専門家になる場合には、重ねて研修が必要。 ・時間が合えば受けたいが自分の知識不足を感じた。

10) 研修会を受けた感想について



## イ. 口. その他

・知識のない自分にとって良かった。 ・当事者が同じ立場で講義され、整理された内容であり参加できて良かった。 ・体はきつかったが良かった。 ・短時間でしたので新たな発見はあったが期待したほどではなかった、もっと時間を作って欲しい。 ・第一日目のだったら詰め込みは勘弁して欲しい、時間を厳守、横文字多すぎる。 ・認識不足、勉強不足を実感した。 ・講義だけでなく各地で病院、施設見学、支部間の連携が必要、これだけでは不十分。 ・ピアマネを責任ある立場で務めることが非常に難しいことが解った。

### 11) 今回の研修会全般についての感想

- (1) ピアマネジャーが公的な資格として認められるよう厚労省に働きかけて欲しい。
- (2) 二日間という短い期間の割には内容にボリュームがあってかなり詰め込んだ感じになりました。もう少し詳しく聞いて見たい内容もありました。又、初めて聞く話も沢山あり興味深い内容の研修会でした。演習についても1人では思いつかない意見などを聞くことができとても勉強になりました。色々ありがとうございました。
- (3) 出席できなかった人のために次回も開催して欲しい。
- (4) 良かったと思いますし、それに参加させていただいて本当に良かった。講師陣のお話も解り易く本当に良かった。小滝先生には一目ぼれし、雰囲気やお話のされかたなど見習いたいと思いました。今回、脊損の方と研修を受けさせていただいて、つくづく人材の宝庫だと思いました。今、大阪府のケアマネジメント従事者講習に参加させて頂いていますが、ピアマネの方が楽しく、時間の立つのも早く感じました。やはり当事者が創り出すものって違いますね。細やかな所への心配りが、講義以外にもそれ以外のところでも感じられました。ポイントがしっかりしているので解りやすかったです。これだけのことを作り上げるのって、本当に大変な作業だろうなと思いながら講義を受けさせて頂きました。講義だけでなく宿泊の手配など、本当にお疲れ様。有り難うございました。大変お世話になりました。
- (5) ピアマネジャー養成事業の委員の皆様には頭が下がります。又、連合会の委員の皆様もよく勉強しておられ自分自身の為にも非常に役に立ちました。
- (6) 研修の話を書き気軽に参加希望をしたのですが内容の濃さにとまどいました。私自身まだ就労もできておらず自立という言葉には遠い存在で研修を受けて良かったのかと反省しております。もう少し自分の知識を深め自分自身の位置づけが出来てから参加できたらもう少しテキストの内容及び講義内容理解も深まったのではないかと思います。ピアサポートはテキストや講義内容は勿論重要だと思いますが、個々、個性のある対象者と接するには自分の人間性を磨いていく必要があることを痛感しました。
- (7) ケアの経験なしに演習は難しい、車いす経験者が自分の経験から、その人がその時こう思い込んでいると思い、こうした方がよいと思わないよう、相手の意見をよく聞く(うまく引き出す)事が大事だと思った、これは非常に難しい。
- (8) 普段の生活の中で車いすの方と接することがないので、いろんな先輩方のお話し、ご経験などをお聞きできてとても良い勉強になりました。今後もこのような機会がありましたら参加させていただきたいと思っております。今回、ピアサポーターという立場をいろいろ教えて頂き、一緒に考えて頂ける仲間がいることの素晴らしさを感じました。今後も勉強を続けつつ、その頼りになれる仲間の1人になれるよう積極的な社会参加を目指したいと思っております。有り難うございました。
- (9) 短時間ではあったが充実した研修であった。

- (10) 関係者の皆様には大変ご苦勞様でした。今回、このような機会を設けていただき大変勉強になりました。又、余計に自分の知識のなさを思い知りピアマネに対して恐怖すら感じております。
- (11) 車いす使用者と二人での参加でしたが、このような素晴らしい施設を利用できたこと、JRやバスを乗り継ぎでアクセス確認できたこと、これだけ多くの脊損の方と出会えたことなど、講義の内容は勿論それに付随する多くの学びがありました。脊損連合会がこれだけのレベルの高いシステムを構築しようとして、これだけ高い理念を元にピアマネ事業を展開しようとしていることが良くわかりました。これは是非、医療関係者や社会にアピールすべきだと思います。私は今、滋賀医科大学で脊損者のサポートに関する研究を少しずつ進めている最中です。その中で脊損者に関するデータベースも少なく統計がきちんと出ていないことも解りました。脊損連合会の役割は大変大きく期待されると思います。そこに医療者も共同で体制をとっていくことが必要である。これから本当に宜しくお願いします。
- (12) 改めて仲間として支援の大切さを実感致しました。自分の役割も解りました。
- (13) 同じ障害を持つ者の団体としてピアサポートの活動の実践を通して社会貢献したい。とても研修会は勉強になった。
- (14) 今後の時代の行き先を考えると必要なものなので非常に役に立つと思います。講師の先生方のお話しも良かったと思います。ホテルはもう少し広いところが良いと思います。
- (15) 少しでも支部の皆様方のお役に立ちたいと思います。スタッフ、講師の皆様有り難うございました。
- (16) 日程が短いので、今回の研修会を受けた方のステップアップ研修会を設けてください。
- (17) 二日間、詰め込みで忙しすぎる研修会でした。
- (18) 大変良かった。
- (19) 早く公的な位置づけを目指したい。
- (20) 相談者からの悩み等をマネジャーが本気で受け止め、そのストレスを解消する手段を伝授しなくては。
- (21) 更にピアマネジャーとして多くの知識を身につけなければならないという思いを感じた。
- (22) 大変私自身にとって研修会は勉強になりました。このような研修会がもっとあることを願っています。
- (23) 多くの脊損の人から苦勞の意見が出て制度の事や情報の範囲が当事者を含め多く、非常に参考になりました。全部のことを出来ないと思いますが、少しずつでも相談に繋がる事を目標にしたい。
- (24) 二日間疲れましたが、いろいろ勉強になりました。これからも頑張って勉強して行きたいと思います。
- (25) 自分はまだ受傷して間もないので、今回参加してすごく勉強になりました。
- (26) 研修の回数にしても、人数にしても少ないと思う。
- (27) 難しいことばかりで、あっという間に過ぎてしまった。
- (28) 全体的にはアットホームな感じで良かった。奈良県支部としても女性会員に参加要請すべきであった。カリキュラムの内容を設定することの難しさを再認識できた。

平成17年度・東北地区ピアマネジャー養成研修会修了者一覧

No.	名 前	郵便番号	住 所
1	阿部 秀一		
2	伊藤 司		
3	畠山 楯夫		
4	渡辺 源一		
5	佐々木 純一		
6	松永 武夫		
7	松嶋 千郷		
8	鈴木 清隆		
9	安杖 直人		
10	渡部 忠治		
11	佐藤 学		
12	高橋 玲子		
13	小池 廣光		
14	柴田 弘好		
15	吉田 七百子		
16	近藤 敏明		
17	矢口 眞澄		
18	志村 裕子		
19	阿部 勇		
20	佐野 陸郎		
21	国分 由起子		
22	内田 昇		
23	箱岩 松男		
24	土谷 勉		
25	土谷 恭子		
26	阿部 容子		
27	日當 万一		
28	山平 誠		
29	齋藤 忠義		
30	才神 清吾		
31	佐々木 清美		
32	飯島 勝三		
33	五十嵐 節		
34	後藤 真奈美		
35	岡野 善記		

平成17年度・関西地区ピアマネジャー養成研修会修了者一覧

No.	名 前	郵便番号	住 所
1	小川 弘乃		
2	山田 和代		
3	猿木 唯資		
4	橋本 三左子		
5	越野 清三		
6	井手 香枝		
7	井上 郁子		
8	岡本 健次郎		
9	染矢 龍男		
10	坂本 高子		
11	野中 順子		
12	本田 正弘		
13	清水 煌三		
14	田中 弘幸		
15	石田 清範		
16	岡崎 章		
17	吉田 憲司		
18	伊東 和也		
19	日紫喜 俊二		
20	松井 保偉		
21	齋藤 美恵子		
22	田中 恒紀		
23	加藤 作子		
24	中島 徹		
25	前中 智佐美		
26	清水 良安		
27	高木 和典		
28	中嶋 達治		
29	吉川 政廣		
30	上道 廣己		
31	川瀬 真弘		
32	前川 清美		
33	鈴木 ひとみ		
34	四塚 康則		
35	木上 秀保		
36	平野 晴雄		
37	玉井 亨		

3. 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修テキスト「平成17年度改訂版」の作成 300部  
(研修会受講者、委員、理事、支部へ配布)
  4. 脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業報告書の作成 300部  
(委員、理事、支部へ配布)
  5. 資料集の作成 300部  
(委員、理事、支部へ配布)
  6. 雇用について 1名雇用42日間  
(委員会・研修会案内等の作成、発送作業、テキスト原稿のとりまとめ、研修会受講者名簿の整理、宿泊者部屋割・案内、研修会日程表作成)
1. 2回の準備・評価委員会にて議論を重ね「脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修テキスト」(17年度改訂版)を作成。テキストをもとに平成17年度は2回の養成研修会を開催した。「第2回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」(東北地区)は、平成17年10月22日、23日の二日間の日程で秋田県青少年交流センター「ユースパル」に於いて開催。受講者は35名。  
「第3回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会」(関西地区)は、平成18年1月21日、22日の二日間の日程で、大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」に於いて開催。受講者は37名。いずれも研修会終了後、受講者に対し終了証を授与し、後日終了証のIDカードを送付した。
  2. 第3回評価委員会では、頸髄損傷者が参加しやすい環境づくりの必要性、受講者の格差是正等についての反省点が各委員から指摘されたものの平成17年度の養成研修会全体としては成功裡であったとの意見が多く出された。

## 【2】障害者自立支援法案等に対する取り組み

障害者自立支援法につきましては、平成15年10月「障害者福祉サービスの「グランドデザイン」」が提出され、その内容を踏まえて、平成15年12月13日理事会で当団体としての立場を確認し、社会保障審議会・障害者部会に見解を表明いたしました。(見解の内容は、16年度香川総会議案書に事業報告済み)また、財源問題の基本スタンスとして、従来と同様に障害者施策については、基本的に国費で担保されるべきである。ただし、国費の場合、その時々を経済情勢により左右されること、また一般財源化される可能性が高いというリスクがある。(香川県総会で確認)

当団体の最終的な目標は、**障害者介護施策の原点である「全ての障害者が安心して地域生活が出来る介護制度の構築をする」**ことに重視し活動した。

### 【17年度活動の具体的成果】

- 17年度取り組み課題のうち下記3項目は、全脊連提案が盛り込まれた。
- (1) 国庫補助交付基準の弾力的運用について
  - (2) 認定審査会(地域生活支援事業)の在り方と役割について(障害当事者を審査会に積極的に)
  - (3) 小規模市町村で一人暮らし重度障害者が地域移行した場合の予算確保(宜野湾、筑後市の事例)

## 【3】労災補償関係の取り組み

### 1) 労災保険法「労災遺族年金の手引き」が完成

05年度の活動項目の第1は、01年度からスタートしました「労災遺族年金の手引き」が、完成したことです。計画を立ててから既に5年が過ぎましたが、既に、この「手引き」を利用して、ご遺族が労災保険法による遺族補償年金を申請し、この半年の間に3遺族の方々が労災保険法による遺族(補償)年

金を受給されています。そして、この「手引き」が頼りになるという評価をいただいています。

## 2) 研修会の開催促進

本部では、この「手引き」の普及を図るため、既に2ヶ所（九州ブロック、東京都支部、東北ブロック／仙台）で実施された「労災遺族年金研修会」を更に多くの支部、ブロックでの開催を進めて行きたいと考えています。特に九州ブロックでは、所属支部が同時並行して対策を進めています。研修会開催を計画されるブロックや支部は、本部理事の新田輝一までお知らせください。

なお、この遺族年金の請求運動は、一部でご遺族に大きなご不満を与えてしまいました。くれぐれもご遺族のプライバシーを厳守しなければなりません。報告などについては、匿名を厳守し、ご遺族のプライバシーを厳守いたします。

つぎに、7月2日（日）は、千葉県支部が千葉リハビリテーションセンターで、7月9日（日）は、岐阜県支部が“かんぼ恵那”で「労災遺族年金研修会」を開催します。参加できる会員、家族の方々は担当支部にご連絡され、開催支部との交流を深めてください。

## 3) 厚生労働省交渉（05年9月27日・火・実施）厚生労働省への要望項目と交渉

既に、脊損ニュースでお知らせしました通り、本部ではブロック、支部、会員各位から寄せられた労災保険などに関する要望項目をまとめ、厚生労働省に対し交渉を実施いたしました。

その要旨を以下にお知らせいたします。

### 【厚生労働省への要望項目と厚生労働省の回答】

#### 要望①

労災被災者である在宅の脊損（「脊髄損傷」の略）者の介護は、被災者の年齢に関係なく、被災労働者の介護は、必ず労災保険の制度で実施すること。被災労働者が65歳になると使用者責任が無くなるなんて、極めて非常識です。

#### 《回答①》

介護保険法によるホームヘルプサービスは、65歳から受けられ、自己負担額は、10%です。サービスも豊富であり、自然です。平成16年4月から65歳以上の被災労働者に派遣されており、現在までのところ、何のトラブルもなく、円滑に運営されています。

#### 要望②

障害者自立支援費制度では、重度障害者の場合、必要な介護給付は、20時間～40時間分が認められています。（介護保険制度では、要介護度5の場合、給付金は、月額358、800円となっています。）ところが、労働者災害補償保険法の介護（補償）給付では、他人介護の場合でも、月額106、100円です。社会保障の介護保険法が損害賠償の労災保険法より、遥かに低く逆転しています。制度の理念からも、早急に労災保険法の介護補償制度を大幅に引き上げてください。

#### 《回答②》

労災の介護補償給付は、現状で、労災保険が定めた介護費用の上限を支給している方は、全体の約4%の方だけです。介護保険施設では、せき髄損傷者と認知症の方と同じ扱いをしています。我慢できない時が多い。労災保険法の介護補償金額は、せき髄損傷者と認知症の対応の仕方が同じであり、苦痛を感じる事が多々ある事を理解しました。この件は、上司に報告します。

#### 要望③

現状では、労災保険でない他の制度による介護補償給付のほうが高額です。労災保険法の介護補償給付金額は、せめて5年に1度は、見直しを実施してください。同じ厚生労働省の支援費制度では、在宅の重

い障害者には、月125時間のホームヘルパーが派遣されています。

《回答③》

検討させていただきます。

#### 要望④

労災ホームヘルパーの養成は、昨年で17,000人が達成したといわれていますが、この中で、実際に業務に従事しているヘルパーは400人です。極めて効率が悪い。そこで、ヘルパーの育成事業を直接、必要としている（社）全国脊髄損傷者連合会に移行してください。

《回答④》

ホームヘルパー育成事業は、看護師等の有資格者としています。従いまして、育成事業を行う団体としては、この目的を達成できる団体をお願いしています。

#### 4) その他

遺族年金請求の支援（この項目は、遺族年金プロジェクトと重複する部分があります）

関東地方の支部会員 X 氏の遺族年金請求が労基署で「不支給」となったため、このご遺族に対する支援のため、不服審査請求を群馬労働局の労災保険審査官に対し提出。死亡された病院、労基署、ご遺族宅などを訪問し最終的に死亡が「業務上」であることを認めさせ、ご遺族に労災法遺族補償年金が支給されることになりました。

この審査請求では、大きな問題点として、労基署の担当事務官がせき髄損傷者の業務上となる基本通達である平成5年10月28日交付の「基発第616号」を知らなかったこと。

更に、病院の医師が同じく、労災保険法のせき髄損傷者の業務上となる基本通達である平成5年10月28日交付の「基発第616号」を知らなかったこと、が判明しました。

上記の問題は、今後の連合会活動を推進する上で、大きな課題となります。

連合会本部労働福祉部として、《1》は、この問題に絞った具体的な活動が不可欠であると考えています。早速、厚生労働省に対し、この通達の周知を図る旨、強く訴えます。また、このための色々な案を支部役員会や会員各位から募ります。

この問題は、医師の理解の問題であり、今後、支部ごとに、また会員がそれぞれの関係する病院の医師に働きかける必要があると思いますが、根気良く通達「基発第616号」（平成5年10月28日交付）をPRする運動が必要であると考えます。

この運動の方法などについても、皆様のご提案をお待ちしております。

## 労災遺族年金プロジェクト 平成17年度活動報告

1) 本部労働福祉部と共催の労災遺族年金研修会報告は省略

2) 今後の研修会の開催予定

本部労働福祉部と労災保険・遺族年金プロジェクトは、共催で、来る2006年7月2日（日）に千葉県支部主催、同7月9日（日）に岐阜県支部が主催として労災保険法遺族年金研修会を開催する計画です。

また、同研修会は、既に東京都支部、東北ブロックが実施しました。研修会の報告は、脊損ニュース4月号に掲載されています。

3) 会員からの労災遺族年金の支給支援

一 労災遺族（補償）年金の申請結果について一

「遺族年金」及び「遺族年金補償年金」請求の結果を報告します。



2006年度までに決定した労災保険法による（主な）せき髄損傷者の死亡に伴う「遺族補償年金」及び「遺族年金」の受給結果を以下の通り報告します。被災労働者本人、ご遺族のプライバシー保護のため、下記のみを表現としました。

No.	死亡年度	男・女	対象の労災法	審査結果	死亡時の主疾患	年齢	損傷部位
1	昭56	男	旧労災法	不支給	じょく瘡・壊疽	70歳代	胸10番
2	平17	男	現行労災法	支給	膀胱がん	70歳代	腰2番
3	平13	男	現行労災法	支給	腎不全	60歳代	胸10番
4	平13	男	現行労災法	未決	脳出血・じょく瘡	70歳代	胸12番
5	平13	男	現行労災法	支給	腎不全・じょく瘡	70歳代	胸10番
6	平17	男	現行労災法	支給	肺炎	70歳代	頸6番
7	平18	男	現行労災法	支給	腎不全	60歳代	胸10番

No.1の該当者は、新田輝一が申請代理人となり、審査請求、再審査請求を行ったが、再審査を受けた時点で、労災保険法に年金制度が無かった時点での被災労働者であり、この被災労働者に審査を行うことは出来ないという理由で「不支給」となった。

各支部、労働福祉部役員は、上記の支部会員で、死亡された方々の情報を本部労働福祉部長まで資料を郵送してください。特にご遺族のプライバシー保護を厳守してください。

注意 死亡原因となった疾病名称は、特に慢性期の永かった被災せき髄損傷者の場合は、多くの疾患名が関係しています。その疾患名を何と決めるかは、担当医師の裁量の範囲であるため、監督署の判断、医師の判断、遺族の判断で異なる場合があります。

所属支部から死亡会員（労災会員）の死亡報告の様式を決め、本部へ提出することを、後日、提案いたします。

#### 【4】障害者差別禁止法の制定についての取り組み

「JDAの実現を目指す全国ネットワーク」活動報告

「JDA全国ネット」は、新田輝一が会長として、2005年度の活動を実施いたしました。JDAは、大別して以下の6つの活動をしました。

1. 国会議員によるJDA研究会を開催
  - ① JDA実現に向けた立法院（国会）対策として —— 衆・参国会議員を招いて「JDA研究会（永田町）」を開催。
  - ② JDA実現を選挙公約に入れる要請  
05年9月11日実施の衆議院選挙の直前に各政党に対し「JDA実現を各政党の選挙公約としてマニフェストに盛り込むことの要請書」を提出する。
2. 都議会議員にJDA条例の制定を要請
  - ① 地方議会対策を実施 —— 東京都議会議員（民主党）を招いての勉強会「JDA研究会（東京都）」を開催。
  - ② 05年6月に都議会議員選挙に向けた都議会各派に対し、公開質問状を提出 —— この質問状は、東京都差別禁止条例の制定と国会に対するJDA制定要請の決議に関するもの
3. 東京と大阪でシンポジウムを開催その他、関係団体のシンポに参加

① 05年5月に「福祉エキスポ2005－住み慣れた地域で住み続けられる社会」と題し、東京と大阪でシンポジウム「福祉エキスポ2005」を開催し、関係各界に「JDA実現の必要性」をアピールした。JDA実現運動を他の関連団体と連携して展開した。

05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」に参加

② 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて――障がいのある人に対する配慮義務――」に参加。

#### 4. 地方議会対策運動を実施

① 東京都議会議員（民主党）を招いての勉強会「JDA研究会（東京都）」を開催

② 05年6月に都議会議員選挙に向けた都議会各派に対し、公開質問状を提出 ―― この質問状は、東京都差別禁止条例の制定と国会に対するJDA制定要請の決議に関するもの

#### 5. 福祉エキスポ2005－住み慣れた地域で住み続けられる社会－を開催

① 05年5月に「福祉エキスポ2005－住み慣れた地域で住み続けられる社会」と題し、東京と大阪でシンポジウムを開催。関係各界に「JDA実現の必要性」をアピールできた。

#### 6. JDA実現運動を他の関連団体に訴える

① 05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」参加

② 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて――障がいのある人に対する配慮義務――」に参加。

以上

## 【5】 請願活動・省庁交渉・ロビー活動及び民間法人等への要請活動

### 1. 各省庁交渉及び各政党等への要請活動

○厚生労働省、国土交通省との合同交渉

第31回理事会（拡大理事会）翌日の9月27日、橋本聖子参議院議員（全脊連顧問）の斡旋により参議院議員会館の第二会議室に於いて厚生労働省、国土交通省との交渉を行いました。

この交渉には、全脊連側から妻屋理事長はじめ17名の理事が出席。厚生労働省から、労働基準局労災補償部労災保険業務室年金福祉 第一係長、同労災管理課企画調整係厚生労働事務官、社会保険庁運営部企画課施設管理室 室長補佐、健康局疾病対策課 課長補佐、社会・援護局 障害保健福祉部企画課計画係（併）障害認定係 係長が出席。また、国土交通省から道路局有料道路課 課長補佐、住宅局建設指導課 課長補佐が出席しました。

◎厚生労働省への要望項目

#### 1. 労働福祉に関する要望 ―労災ホームヘルプサービス事業について―

(1) 65歳以上の労災ホームヘルプサービス利用の要望

(2) 労災介護補償給付額のアップの要望

(3) 労災ホームヘルパー育成事業の連合会側への委託要請

脊損ニュース2005年11月号 (No.392号) に掲載

#### 2. 脊髄損傷専門センター病院を設置 疼痛緩和の治療法の研究開発に関する要望

(1) 脊髄損傷専門センター病院を設置すること（3年以内に関東と関西の二箇所に）

(2) 疼痛緩和の治療法の研究開発

(3) 神経再生研究促進のための指針策定を早急に具体化すべきである

脊損ニュース2006年1月号 (No.394号) に掲載

◎国土交通省への要望項目

1. 身体障害者の有料道路通行料金割引制度についての要望

脊損ニュース2006年1月号 (No.394号) に掲載

2. 車いす使用者用駐車施設の適正利用に関する方策についての要望

脊損ニュース2006年2月号 (No.395号) に掲載

3. 今後の障害福祉施策と18年度予算に関する要望 2005年 7月22日

4. 衆議院選挙政党マニフェスト緊急要望－障害福祉施策の基本指針－ 2005年 8月11日

(1) 障害福祉関係予算の拡大を

(2) 障害者自立支援法の個別事項 (重要項目順)

(3) 障害者を介護保険に入れるべきではなく、障害者は現状の制度方式を継続すべきである

5. 障害者自立支援法の成立に伴う緊急要望 2005年11月28日

◎平成18年度政府予算案編成に関する要望事項

(1) 自立支援給付 (義務的経費) に要する費用について、必要かつ十分な財源を確保すること  
(相談支援・訓練等給付費・自立支援医療費・補装具等)

(2) 裁量的経費である地域生活支援事業 (市町村が実施主体となる裁量的経費) については、財源面での不安定さが懸念され、その重要性から見て予算確保に当たって特段の配慮をはかること  
(相談支援・移動支援・コミュニケーション支援・日常生活用具・地域活動支援センター)

(3) 地域生活を支援するための物的並びに人的なサービス基盤について、これを飛躍的に拡充するための法的な根拠を備えた特別な策を講ずること

(4) 附則で明記された「障害者の範囲」(第3条1項) ならびに「所得確保」(第3条3項) の検討については、予算確保を含めて速やかに検討体制を整えること

◎国会での付帯決議等に関する要望事項

(1) 衆議院での「付帯決議に関する申し合わせ」(10月28日) ならびに参議院での「付帯決議」

(10月28日)、衆議院・参議院での答弁については、これらを確実かつ速やかに具体化すること

◎政令、省令等に関する要望事項

(1) 利用者負担について (2) 新規事業・施設制度について (3) 自立支援医療について

(4) 障害程度区分について (5) 市町村審査会について (6) 重度障害者の介護保障について (7) 補装具・日常生活用具について (8) 移動介護について

(9) コミュニケーション支援について(10)相談支援事業所について(11)小規模作業所について

第33回理事会議事録に掲載

6. 平成17年12月15日、橋本聖子参議院議員 (全脊連顧問) に対し要望書を提出

(1) 既存脊損専門病棟存続と脊損専門センター設置

(拠点センター：関東・関西) についての要望

(2) 美唄労災病院の脊損専門センターとしての存続についての要望

(北海道ブロック佐々木理事からの要請)

第34回理事会議事録に掲載

7. 障害者自立支援法の具体的検討に当たって (緊急要望) 2006年 1月26日

(1) 重度訪問介護 (現：日常生活支援ヘルパー) については単価の引き上げを

(2) 1人暮らしの最重度障害者に対する国庫補助基準について特段の配慮をお願いします

(3) ヘルパー制度に居住地特例の適用を(1市町村への最重度者集中対策)

8. 平成18年2月28日、国土交通省・北側一雄大臣に対し自動車事故対策機構介護料と自動車事故証明に関わる要望書を提出

## 【6】体育振興事業

1. スポーツ競技大会に後援または協賛し広く障害者の体育の振興を図りました。
- (1) 第34回日本車いすバスケットボール選手権大会／平成17年5月3日～4日
  - (2) 第5回ピパオイカップ車いすバスケットボール選手権大会  
兼全国障害者スポーツ大会北海道ブロック代表選考会／平成17年8月27日～28日
  - (3) 第14回東北ブロック（理事長杯）車いすゲートボール大会／平成17年8月29日
  - (4) 第6回関東甲信ブロックスポーツ交流会・グラウンドゴルフ大会／平成17年11月6日
2. 日本ハンドサイクル協会の設立準備委員会及び設立総会の実施

(1) 日本ハンドサイクル協会設立準備委員会の実績

①第1回設立準備委員会	6月16日	目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都)
②第2回設立準備委員会	7月10日	日本ハンドサイクル協会設立準備事務局(東京・目黒区)
③第3回設立準備委員会	7月24日	〃
④第4回設立準備委員会	8月19日	〃
⑤第5回設立準備委員会	9月6日	〃
⑥第6回設立準備委員会	11月3日	〃
⑦第7回設立準備委員会	11月6日	〃
⑧第8回設立準備委員会	11月27日	〃

(2) 日本ハンドサイクル協会設立総会の開催

平成17年12月4日、東京都障害者スポーツセンターに於いて、第1回ハンドサイクル競技会及び日本ハンドサイクル協会設立総会が開催されました。設立総会では、佐久間侶男氏(埼玉県支部長)が会長に就任しました。

## 【7】福祉機器等のモニターの募集

1. (財)日本障害者リハビリテーション協会からの調査依頼に関して  
「障害者施策総合調査」(生活環境・情報・コミュニケーション等)に関する調査依頼があり、各県支部へ協力要請文を送付した結果、許可回答があり、各県支部からの調査協力者330名に調査票を送付しました。
2. (財)共用品推進機構が実施するアンケート調査について  
「高齢者・障害者の日常生活の不便さ調査」について協力要請があり、今回はウェブ上でアンケート調査を実施することから、メール通信ができるモニター(回答者)を支部長はじめ支部役員を含め各支部より10名程度募集しました。第1回目のテーマは、スーパーでの不便さ調査でした。  
モニターになって戴けた方は、今後も定期的にアンケート調査に回答して戴くようになります。

## 3. 運営活動資金の関連事業

全脊連の運営活動資金は、全国の皆様の会費収入を基本とし、一方ではファイザー株式会社様、株式会社ニッシン自動車工業様、コンビウィズ株式会社様、日本ヘルスケア株式会社様などの企業から手厚いご支援をいただき本部事務局体制の維持を図りました。また、ガソリンの購入には、エネオスアソックカードに加入していただくよう脊損ニュースにてお願いしました。

## 4. 会員増強活動及び賛助会員募集活動

会員勧誘のためのパンフレット「明日から元気ケア」の配布やピアサポート活動を通じて会員の増強を図っていただくよう各県支部に呼びかけを行いました。また、賛助会員の増強についても、関連企業や団体、個人などに対し本部だけではなく各県支部にも協力要請のお願いと募集活動を行いました。

## 5. 会議の開催等

### (1) 第4回総会の開催

第4回総会香川県大会は5月26日～28日の3日間の日程で高松市にある全日空ホテルクレメント高松にて開催されました。この大会には、34支部・総勢で179名の参加がありました。

記念式典の感謝状贈呈式では、本部・香川県支部及び各県支部より推薦された33名の方々が受賞。また、講師に佐々木安徳氏（専光寺住職）を迎え、「一所懸命」と題した講演が行われました。

総会議事では、第1号議案（平成16年度事業報告）、第2号議案（平成16年度収支決算報告・監査報告）、第3号議案（平成17年度事業計画）、第4号議案（平成17年度予算案）、第5号議案（役員改選）、第6号議案（その他の案件）について審議の結果、承認されました。

### (2) 拡大理事会の開催

平成17年度の拡大理事会は2回開催しました。

第31回理事会（拡大理事会）は、平成17年9月26日（月）、東京都障害者スポーツセンターにて開催しました。出席者は19名。主な議題として、各ブロックからの報告、本部からの報告のほか省庁交渉、平成19年度の全国総会開催県、労災遺族年金手引き書の発行および活用、全脊連の活動方針と運営その他について討議しました。

第35回理事会（拡大理事会）は、平成18年3月20日（月）、東京都障害者スポーツセンターにて開催しました。出席者は17名。主な議題として、各ブロックからの報告、本部からの報告のほか平成18年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業、平成18年度の事業計画、平成18年度の収支予算案、労災遺族年金、障害者自立支援法、第5回総会山形県大会、平成19年度全国総会開催県（輪番制含む）、インターネット版車いす宿泊ガイドその他について討議しました。

### (3) 理事会（拡大理事会含む）の開催

平成17年度の理事会は第28回理事会～第36回理事会の計9回開催しました。

#### ①第28回理事会

開催日 平成17年 4月30日（土）

会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 9名 委任状提出者 8名

#### ②第29回理事会

開催日 平成17年 6月30日（木）

会 場 東京都障害者スポーツセンター（東京都北区）

出席者 9名 委任状提出者 9名

#### ③第30回理事会

開催日 平成17年 8月18日（木）

会 場 新田コミュニティ会館（東京都江戸川区）

出席者 9名 委任状提出者 7名

#### ④第31回理事会（拡大理事会）

開催日 平成17年 9月26日(月)  
会 場 東京都障害者スポーツセンター(東京都北区)  
出席者 19名

⑤第32回理事会

開催日 平成17年 10月31日  
会 場 南葛西会館(東京都江戸川区)  
出席者 10名 委任状提出者 7名

⑥第33回理事会

開催日 平成17年11月26日  
会 場 東葛西会館(東京都江戸川区)  
出席者 10名 委任状提出者 5名

⑦第34回理事会

開催日 平成18年 1月24日(土)  
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)  
出席者 9名 委任状提出者 5名

⑧第35回理事会

開催日 平成18年 2月25日(日)  
会 場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」(東京都目黒区)  
出席者 9名 委任状提出者 5名

⑨第36回理事会(拡大理事会)

開催日 平成17年 3月20日(月)  
会 場 東京都障害者スポーツセンター(東京都北区)  
出席者 17名 委任状提出者 2名

(4) 各ブロック会議の開催

①北海道ブロック会議

開催日 平成17年8月27日・28日  
開催県 北海道支部

②東北ブロック会議

開催日 平成17年8月28日(会議)・29日(ゲートボール大会)  
開催県 宮城県支部  
◎本部からは佐々木理事が出席

③北越ブロック会議

開催日 平成17年7月3日  
開催県 富山県支部 『砺波ロイヤルホテル』  
◎本部からは妻屋理事長、進藤理事が出席

④関東ブロック会議

開催日 平成17年11月5日(会議)・6日(グラウンドゴルフ大会)  
開催県 神奈川県支部 『フォーラム246』  
◎本部からは妻屋理事長はじめ関東ブロック在籍の理事が出席

⑤近畿東海ブロック会議

開催日 平成17年9月24日

開催県 岐阜県支部 『バードグリーンホテル』

◎本部からは妻屋理事長が出席

#### ⑥中・四国ブロック会議

開催日 平成17年10月28日

開催県 岡山県支部 『国民宿舎サンロード吉備路』

◎本部からは大浜副理事長が出席

#### ⑦九州ブロック会議

開催日 平成17年10月14日(会議)・15日(親善グラウンドゴルフ大会)

開催県 佐賀県支部 『虹の松原ホテル』

◎本部からは大濱副理事長、細野理事が出席

## 6. その他の活動

### (1) 自然災害被災支部への義援金送付

脊損ニュースにて自然災害被災支部への義援金募集を会員の方々へお願いした結果、総額1,528,565円の義援金が寄せられ、新潟県、兵庫県、福井県、香川県に、家屋の全・半壊等の被災程度に応じて配分し被災支部へ送金しました。

### (2) 中央障害者施策推進委員として妻屋理事長が任命されました。

### (3) 障害者自立支援法に関して大濱副理事長が各会合に出席しました。

(4) 5月17日、内閣提出の障害者自立支援法(内閣提出第35号)及び障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第36号)を議題とする、第126回国会厚生労働委員会第22号が衆議院第18委員室にて行われ、大濱副理事長が参考人として出席し両案について発言しました。

(5) 第55回の厚生労働大臣賞は、身体障害者等社会参加促進功労者として、埼玉県支部の亀田藤雄氏(株式会社ニッシン自動車工業/代表取締役)が全脊連の推薦を受け選ばれました。

(6) 山形総会開催にあたり、11月14日～15日、妻屋理事長が山形県知事および山形市長を表敬訪問しました。

(7) 財団法人東京メソニック協会(メイスン財団)より関東地区内の福祉施設に対し、全脊連が推薦する3施設に電動車椅子を寄贈するとの説明があり、東京都障害者スポーツ協会(東京都)、(福)飛山の里福祉会(栃木県)、千葉リハビリテーションセンター(千葉県)の3施設を推薦。1月11日の(財)東京メソニック協会理事会にて正式承認され、各施設に寄贈されました。

### (8) ビジネスホテル東横インに対する抗議行動

2月9日、大田区センター会議室(東京・蒲田)に於いて、(株)東横インの偽装工事に対する抗議文を提出し早急に改善するよう要求しました。 脊損ニュース3月号(No.396号)に掲載

### (9) 各理事その他の活動

(妻屋理事長)

\*理事会出席 4/30 6/30 7/22 8/18 9/26 10/31 11/26 1/14 2/25 3/20

\*日本障害者フォーラム参画打ち合わせ(厚生労働省) 4/4

\*国際医療福祉大学大学院の「患者に学ぶ」会議(青山) 4/4 7/7 7/14 10/12 11/28

\*埼玉県支部長との懇談(新宿ワシントンホテル) 4/5

\*自立支援法の公明党ヒアリング・民主党のヒアリング出席(議員会館) 4/7

- \* 社会福祉協議会の身体障害者団体連絡会監査委員会・総会出席（全社協） 4/21
- \* JDA懇談会出席（議員会館） 4/21
- \* 神奈川リハビリセンターの林先生退任パーティー出席（ヒルトン小田原） 4/22
- \* 山形県支部総会出席（山形県東紅苑） 4/23～24
- \* バリアフリーボランティアモデル事業検討委員会出席 4/26 5/24 12/13
- \* 橋本聖子議員に脊損センターの件で陳情（議員会館） 4/28
- \* 車いすバスケットボール選手権大会式典出席（代々木体育館） 5/3
- \* 障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム出席（日比谷公会堂） 5/12
- \* 脊損ニュース編集会議出席 5/14、2/4
- \* JDAと民主党議員集会（議員会館） 5/17
- \* 中央障害者施策推進協議会出席（総理大臣官邸） 5/20
- \* 第4回全国総会香川県大会（香川県） 5/26～28
- \* 個人情報保護法の勉強会（ファイザー株式会社） 5/30
- \* 八代英太と明日の日本を語る会（赤坂プリンスホテル） 6/2
- \* せきずい基金編集会議（新宿） 6/5
- \* 練馬タウンミーティング（石神井公園） 6/6
- \* 業者との懇談（自宅） 6/7 7/2 9/7 12/20
- \* 海上交通バリアフリー施設整備の技術開発委員会（弘済会館） 6/8
- \* 財団法人共用品推進機構理事会 6/9 3/9
- \* 埼玉県支部総会出席（春日部市） 6/12
- \* 独立行政法人医療福祉機構ヒアリング（虎ノ門） 6/15
- \* 小規模作業所支援議員連盟総会（自民党本部） 6/16 2/8
- \* 日本ハンドサイクル協会設立準備委員会 6/16 7/10 7/24 8/19
- \* 日本身体障害者連合会児玉会長の叙勲記念パーティー 6/19
- \* 治験についての勉強会（ファイザー本社） 6/23
- \* ピアマネジャー養成研修事業準備・評価委員会（戸山サンライズ） 7/3 9/11 2/26
- \* 北越ブロック会議（砺波ロイヤルホテル） 7/4
- \* トイレの操作設備の標準化に関する検討委員会（財団法人共用品推進機構） 7/11 11/21 2/27
- \* ピアサポート活動（関東労災病院） 7/15 8/7 8/21 8/28
- \* 自立支援法関係（議員会館） 7/20
- \* 自立支援法について公明党のヒアリング（議員会館） 7/22
- \* JDF委員会（戸山サンライズ） 7/26
- \* 国土交通省消費者行政課新任課長との面談（国土交通省） 8/8
- \* 災害時要援護者の避難対策に関する内閣府のヒアリング 8/26 10/14
- \* 運転免許取得者インターアートコミッティーズとの面談 8/29 2/24 3/22
- \* 第一製薬との面談 8/30
- \* ピアマネジャー養成研修テキストの校正（本部事務所） 8/31
- \* 株式会社キロックスとの面談（自宅） 9/7
- \* 宮路和明衆議院議員パーティー（虎ノ門パストラル） 9/20
- \* 近畿東海ブロック会議（岐阜県） 9/24
- \* 省庁交渉（議員会館）・公明党ヒアリング 9/27



- \* JDAの民主党陳情 9/28
- \* 八代英太氏を励ます会 9/28
- \* 災害時要援護者の避難対策に関する検討委員会 9/30 11/24 12/26 2/10 3/10
- \* 共同募金活動（横浜駅） 10/1
- \* 千葉リハビリテーションのリハビリ研修会出席 10/1 12/3
- \* 高齢者、障害者の不便さ調査に関する調査検討委員会（共用品推進機構） 10/3 12/9 2/24 3/1
- \* せきずい基金の神経再生講演会（目黒区） 10/8
- \* 厚生労働省・松浪健太議員ヒアリング 10/12
- \* ピアマネジャー養成研修会（秋田県） 10/22 10/23
- \* インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」合同会議 11/2 12/14 1/28 3/4 4/8
- \* 関東ブロック会議神奈川県大会・グラントゴルフ大会 11/5 11/6
- \* 東京支部のバーベキュー大会参加 11/13
- \* 全国総会山形県大会の知事表敬訪問（山形県庁他） 11/14 11/15
- \* 教育問題で勉強会（参議国会館） 11/18
- \* ピアポート活動（長野県佐久市民病院） 11/23
- \* JDAの都議会議員有志との勉強会（都庁） 11/29
- \* 障害8団体による川崎二郎厚生労働大臣への陳情 11/30
- \* 千葉県支部忘年会 12/3
- \* ファイザーの会報「まねきねこ」取材（自宅） 12/6
- \* 厚生労働大臣賞授与式（厚生労働省） 12/8
- \* 国土交通省バリアフリー新法についてのヒアリング 1/13
- \* 障害者向け通信についての三菱UFJリサーチコンサルティングのヒアリング 1/13
- \* ピアマネジャー養成研修会（大阪市） 1/22 1/23
- \* 公明党ヒアリング 1/26
- \* 東京支部新年会・テレビ朝日の東横イン取材 1/29
- \* 自民党バリアフリー新法議員連盟総会 2/7 2/17
- \* バリアフリー新法の公明党ヒアリング 2/7 2/17
- \* 自民党障害者権利条約推進議員連盟総会（議員会館） 2/8
- \* ビジネスホテル東横インに対する抗議行動 2/9
- \* 東京都と早稲田大学の福祉機器に関する合同シンポジウム 2/15
- \* 歌麿会懇親会出席（新横浜） 2/19
- \* スカイパーフェクトテレビ取材（本部事務所） 2/24
- \* 交通事故被害者救済対策に関するヒアリング（国土交通省） 2/28
- \* 三重県支部創立30周年記念大会出席 3/12
- \* 中央障害者社会参加推進協議会委員会出席（かんぽヘルスプラザ） 3/22

（大濱副理事長）

- \* 自民党障害者特別委員会 4/6、4/13、4/20、5/13、6/2、6/16、7/6
- \* 公明党・民主党ヒアリング 4/7
- \* 愛知重度障害者連合会シンポジウム 4/16
- \* 全国大行動全国大行動世話人会議 4/18、5/6、6/3、6/21、8/12、9/14、10/6、12/20

- \*身体障害者団体連絡協議会 4/21
- \*社会保障審議会 4/26、6/10、10/5
- \*SIJ理事会 4/30、6/30、7/22、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \*DPI 常任委員会 5/14、8/13、8/14、9/19、10/9、1/11、2/18、2/19
- \*JSCF理事会、5/20、6/5、8/7、9/15、1/15、3/4
- \*JD打ち合わせ 5/12
- \*第4回全国総会香川県大会 5/26~28
- \*参議院会館 5/31
- \*練馬タウンミーティング 6/6
- \*JDF幹事会 6/7、6/20、10/21
- \*JDFセミナー 6/8
- \*DPI 日本会議 福岡 6/11~12
- \*三多摩タウンミーティング 6/13
- \*独立行政法人医療福祉機構ヒアリング（虎ノ門） 6/15
- \*新宿区障害者会館 6/27
- \*中野サンプラザ・東京国際交流 6/29
- \*全社協自立支援法 7/5
- \*都議会公明党・社会保障審議会 7/12
- \*厚生労働委員会 7/13
- \*衆議院議員会館自立支援法 7/20
- \*公明党ヒアリング 7/22、1/26
- \*JDF戸山サンライズ 7/26
- \*JDAシンポジウム 8/10
- \*韓国ES細胞（延世大シンポジウム） 8/25~26
- \*ハガキ通信 9/21、22、23
- \*省庁交渉 9/27
- \*東京簡易保険会館・銀鈴会シンポジウム 9/28
- \*厚生労働省 9/29、10/12、11/9、11/20、11/28、12/2、12/19、1/23、2/7、2/21、2/27、3/3
- \*民主党ヒアリング 9/30
- \*沖縄自立支援法シンポジウム 10/2~4
- \*JSCFイベント 10/8、11/6、12/24
- \*九州ブロック会議（佐賀） 10/13~15
- \*東大 科学技術ライティング 10/25
- \*補装具検討委員会 10/26、11/1、11/30、3/16
- \*中国四国ブロック会議 10/27~29
- \*自立支援法 11/3
- \*日本せきずい障害学会 11/11
- \*ICCP（ニューロサイエンス学会ワシントンDC） 11/12~16
- \*全国社会福祉協議会 12/17
- \*自民党本部 12/25
- \*財務省自立支援法予算要望 12/14

- \* 香港再生医療学会 12/16～18
- \* 第3回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/関西地区（アミティ舞洲） 1/21～22
- \* 知的福祉協会自立支援法セミナー 1/25
- \* 全社協 学習会 2/1
- \* 小規模作業所・自民党本部 2/8
- \* 社会保障審議会 2/9
- \* 自民党障害者議連 2/14
- \* 衆議院議員会館 2/15
- \* 自立支援法説明会 2/17
- \* ヒト幹細胞 2/22
- \* ピアマネジャー養成研修評価委員会 2/26
- \* 国土交通省自動車交通局 2/28
- \* 再生医学会市民公開講座（岡山） 3/7
- \* ヒトES細胞研究準備会 3/8

（成瀬副理事長）

- \* 障害者差別をなくす研究会（千葉県庁） 4/11、1/31
- \* ヘルスケアネット（ファイザー株式会社） 5/16
- \* まちづくり協議会（千葉県庁） 5/16
- \* 保健福祉広報協会理事会 5/23、2/27
- \* 全国介助犬協会評議員会（全共連） 5/30
- \* バリアフリー懇談会（NHK学園） 6/26
- \* 理事会出席 6/30、9/26、10/31、1/14、2/25
- \* 千葉リハ脊髄損傷講習会（千葉リハビリテーションセンター） 10/1
- \* 千葉リハ公開講座（千葉リハビリテーションセンター） 12/3
- \* 身体障害者補助犬法問題の相談（国民生活センター） 1/16
- \* 本部&東京都支部合同新年会 1/29

（新田副理事長）

- \* 「JDA研究会（永田町）」の開催
- \* 「JDA実現を各政党の選挙公約としてマニフェストに盛り込むことの要請書」の提出
- \* 東京都議会議員（民主党）を招いての勉強会「JDA研究会（東京都）」を開催
- \* 05年5月に「福祉エキスポ2005－住み慣れた地域で住み続けられる社会」と題し、東京と大阪でシンポジウム「福祉エキスポ2005」を開催
- \* 05年6月に都議会議員選挙に向けた都議会各派に対し、公開質問状を提出
- \* 理事会出席 6/30、9/26、11/26、3/20
- \* 省庁交渉 9/27
- \* 05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」に参加
- \* 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて――障がいのある人に対する配慮義務――」に参加
- \* 05年12月の「第11回障害者政策研究全国集会」参加

- \* 06年1月の日本弁護士連合会主催のシンポジウム「差別禁止法の制定に向けて——障がいのある人に対する配慮義務——」に参加
- \* 東京都支部主催・労災遺族年金研修会（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- \* 東北ブロック主催・労災遺族年金研修会（宮城県心身障害者福祉センター） 3/5

〔市川専務理事〕

- \* 第27回理事会議事録作成 4/5～7
- \* 第28回理事会開催案内の作成 4/17
- \* 理事会出席 4/30、6/30、7/22、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \* 第28回理事会議事録作成 5/12～14
- \* 第4回総会香川県大会 5/26～5/28
- \* 独立行政法人医療福祉機構ヒアリング（虎ノ門） 6/15
- \* 平成17年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業、準備・評価委員会（戸山サンライズ）  
7/3、9/11、2/26
- \* 第29回理事会議事録作成 7/9～11
- \* 第31回理事会（拡大理事会）開催案内の作成 8/3～4
- \* ピアマネ研修会参加者募集案内作成 8/5
- \* ピアマネ準備・評価委員会案内作成 8/18
- \* 省庁交渉 9/27
- \* 第31回理事会（拡大理事会）議事録作成 10/9～12
- \* 第2回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/東北地区（秋田県青少年交流センター） 10/22～23
- \* 関東甲信ブロック会議（フォーラム246） 11/5
- \* 第32回理事会議事録作成 11/16～17
- \* 千葉リハ公開講座（千葉リハビリテーションセンター） 12/3
- \* 柵屋事務所訪問（衆議院第二議員会館） 12/6
- \* インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議（ロックシステム本社） 12/14
- \* 第33回理事会議事録作成 12/26～27
- \* 第3回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/関西地区（アミティ舞洲） 1/21～22
- \* 東京都支部新年会出席（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- \* ピアマネ準備・評価委員会開催案内作成 2/6
- \* 第34回理事会議事録作成 2/7～9
- \* 東横イン抗議活動 2/9
- \* 第36回理事会（拡大理事会）議事録作成 3/25～27

〔千葉専務理事〕

- \* 「人に優しい地域の宿づくり賞」選考委員会（全旅連） 4/20
- \* 財務監査（佐藤監事宅） 4/26
- \* 香川県大会議案書印刷、製本（本部事務所）4/27、5/2、5/7
- \* 理事会出席 4/30、7/22、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \* 「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム」（日比谷公会堂） 5/12
- \* 脊損ニューズ編集会議 5/14、2/4

- \* 第 126 回国会厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 5/17
- \* 財務関係（本部事務所） 5/23、7/1、8/1、9/8、9/22、10/19、12/6、1/18、2/17、3/17
- \* 第 4 回総会香川県大会（香川県高松市） 5/26～5/28
- \* 千葉リハスタッフとの勉強会（千葉リハビリテーションセンター） 6/12、11/19、2/22
- \* 平成 17 年度脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修事業、準備・評価委員会（戸山サンライズ）  
7/3、9/11、2/26
- \* 衆議院厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 7/13
- \* 省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \* 千葉リハ脊髄損傷講習会（千葉リハビリテーションセンター） 10/1
- \* 参議院厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 10/13
- \* 第 2 回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/東北地区（秋田県青少年交流センター） 10/22～23
- \* 「いきいきチャレンジ」取材（本部事務所） 10/26
- \* 関東甲信ブロック会議（フォーラム 246） 11/5
- \* 関東甲信ブロックスポーツ交流会（神奈川リハビリテーションセンター） 11/6
- \* 東京都支部のバーベキュー大会参加 11/13
- \* 全社協評議員総会（新霞ヶ関ビル） 11/29
- \* 千葉リハ公開講座（千葉リハビリテーションセンター） 12/3
- \* 柳屋事務所訪問（衆議院第二議員会館） 12/6
- \* インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議（ロックシステム本社） 12/14、1/28、3/4
- \* 第 3 回脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会/関西地区（アミティ舞洲） 1/21～22
- \* 公明党ヒアリング（衆議院議員会館） 1/26
- \* 本部・東京都支部合同新年会（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- \* 自民党ヒアリング（自民党本部） 2/8
- \* 脊損ニュース校正 4 月号～3 月号
- \* 第 4 回総会香川県大会議案書、大会パンフ作成 平成 17 年 3 月～4 月
- \* 第 5 回総会山形県大会議案書作成 3 月～

〔赤城理事〕

- \* 脊損ニュース校正 4/5～7、5/2、5/6、5/31、6/2、7/6、7/8、8/1、8/3、9/6、9/8、11/4、11/7、12/2、12/5  
1/5、1/10、2/6、2/8、3/6、3/8
- \* 総会議案書校正 4/24
- \* 脊損ニュース入稿 4/25、5/24、6/29、7/25、8/29、9/30、10/27、11/25、12/26、1/30、2/27、3/27
- \* 理事会出席 4/30、6/30、7/22、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \* 編集会議 5/14、2/4
- \* 全国総会 香川県大会出席 5/26～28
- \* 遺族年金マニュアル 校正 7/2
- \* 八代 英太パーティ出席 9/28
- \* 共同募金活動 10/1、10/7
- \* 海老名サービスエリア取材 10/1
- \* 関東甲信ブロック会議出席 11/5
- \* 千葉支部忘年会出席 12/3

- \* 神奈川支部忘年会出席 12/16
- \* 本部&東京支部合同新年会出席 1/29
- \* インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議（ロックシステム本社） 3/4
- \* 東横イン抗議活動 3/9

〔細野理事〕

- \* 理事会出席 9/26、10/31
- \* 省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \* 九州ブロック会議（佐賀） 10/13～15

〔澤藤理事〕

- \* 理事会出席 4/30、7/22、8/18、9/26、11/26、2/25、3/20
- \* 省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \* 国際福祉機器展見学 9/29
- \* インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議 12/14、3/4
- \* ファイザー（株）ワークショッップ 10/29・30
- \* その他自宅にて、E-Mail 及びファックスによる情報配信を行っています。

〔佐々木理事〕

- \* 理事会出席 4/30、6/30、9/26、10/31、1/14、3/30
- \* 「障害者自立支援法」を考えるみんなのフォーラム（日比谷公会堂） 5/12
- \* 第4回総会香川県大会出席（香川県高松市） 5/26～28
- \* ハンドサイクル福井県視察（福井県立福井大学構内） 6/12
- \* ハンドサイクル協会設立委員会 6/16、7/10、7/24、8/19、9/6、11/3、11/6、11/27
- \* 東北ブロック会議出席（宮城県） 8/28～29
- \* 省庁交渉出席（参議院議員会館） 9/27
- \* ピアマネジャー養成研修会（秋田県青少年交流センター） 10/21～23
- \* 関東甲信ブロック会議出席（神奈川県・フォーラム246） 11/5～6
- \* 千葉リハ公開講座（千葉県千葉リハビリテーションセンター） 12/3
- \* 千葉県支部忘年会出席（千葉市） 12/3
- \* 第1回ハンドサイクル競技会（東京都障害者スポーツセンター） 12/4
- \* 第1回ハンドサイクル協会設立総会（東京都障害者スポーツセンター） 12/4
- \* 本部&東京都支部合同新年会出席（東京都障害者スポーツセンター） 1/29

〔進藤理事〕

- \* 財務監査（佐藤監事宅） 4/26
- \* 理事会出席 4/30、6/30、7/22、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \* 「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム」（日比谷公会堂） 5/12
- \* 第126回国会厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 5/17
- \* 第4回総会香川県大会（香川県高松市） 5/26～5/28

- \*ハンドサイクル協会設立委員会 6/16、7/10、7/24、8/19、9/6、11/3、11/6、11/27
- \*衆議院厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 7/13
- \*省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \*千葉リハ脊髄損傷講習会（千葉リハビリテーションセンター） 10/1
- \*参議院厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 10/13
- \*省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \*ピアマネジャー養成研修会（秋田県青少年交流センター） 10/21～23
- \*関東甲信ブロック会議出席（神奈川県・フォーラム246） 11/5～6
- \*千葉リハ公開講座（千葉県千葉リハビリテーションセンター） 12/3
- \*千葉県支部忘年会出席（千葉市） 12/3
- \*第1回ハンドサイクル競技会（東京都障害者スポーツセンター） 12/4
- \*第1回ハンドサイクル協会設立総会（東京都障害者スポーツセンター） 12/4
- \*インターネット版車いす宿泊ガイド合同会議（ロックシステム本社） 12/14、1/28、3/4
- \*公明党ヒアリング（衆議院議員会館） 1/26
- \*本部・東京都支部合同新年会（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- \*自民党ヒアリング（自民党本部） 2/8

（上田監事）

- \*財務監査（佐藤監事宅） 4/26
- \*理事会出席 4/30、6/30、8/18、9/26、10/31、11/26、1/14、2/25、3/30
- \*「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム」（日比谷公会堂） 5/12
- \*第126回国会厚生労働委員会傍聴（国会議事堂） 5/17
- \*第4回総会香川県大会 5/26～5/28
- \*省庁交渉（参議院議員会館） 9/27
- \*千葉リハ脊髄損傷講習会（千葉リハビリテーションセンター） 10/1
- \*関東甲信ブロック会議出席（神奈川県・フォーラム246） 11/5～6
- \*千葉県支部忘年会出席 12/3
- \*東京都支部主催・労災遺族年金研修会（東京都障害者スポーツセンター） 1/29
- \*本部&東京都支部合同新年会出席（東京都障害者スポーツセンター） 1/29